



Document Solutions

> PRINT

ECOSYS P2135dn

使用説明書 応用編



はじめに

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。KPDF は京セラ株式会社の商標です。
- 3M は、3M 社の商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2012、Windows 8 および Internet Explorer は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OS、AirPrint は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は Cisco の米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc. がライセンスに基づき使用しています。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の構成について

本書は次の章で構成されています。

用紙について

本機で使用できる用紙について説明しています。

操作パネル

本機の操作パネルを使った操作について説明しています。

オプション

プリンターに装着できるさまざまなオプションについて説明します。

フォント

本機の内蔵フォント一覧です。

付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

使用説明書

本機用の紙の補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

インストールガイド

本機の設置手順を説明しています。

日常のお手入れ

トナーコンテナの交換、お手入れ、印刷中に表示されるエラーメッセージと紙づまりへの対処のしかたなどを説明しています。

使用説明書 応用編（本書、DVD-ROM 収録）

プリンター機能の詳細、各種の初期設定について説明しています。

プリスクライプコマンドリファレンスマニュアル（DVD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライプコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

プリスクライプコマンドテクニカルリファレンス（DVD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライプコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに体系的に説明しています。

プリンタードライバー操作手順書（DVD-ROM 収録）

KX プリンタードライバーの操作方法について説明しています。

KYOCERA Net Direct Printing 操作手順書（DVD-ROM 収録）

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷する方法について説明しています。

Command Center RX 操作手順書（DVD-ROM 収録）

Web ブラウザーを介して、パソコン上からプリンターの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

本書の読みかた

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	操作パネル上のキーとインジケータを示します。	[メニュー] キーを押してください。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	「プリント デキマス」が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	• プリンタードライバー操作手順書を参照してください。 • OK をクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	参考：トナーコンテナの交換は、プリンターの電源を入れたまま行えます。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	重要：ドラム部分に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

目次

はじめに	i
付属マニュアルの紹介	ii
本書の読みかた	iii
1 用紙について	1-1
用紙の基本仕様	1-2
使用できる用紙	1-2
用紙の基本仕様	1-2
用紙の最大サイズと最小サイズ	1-3
適正な用紙の選択	1-4
ガイドライン	1-4
用紙の特性	1-5
その他の仕様	1-6
特殊な用紙	1-8
特殊な用紙の選択	1-8
用紙の種類	1-12
2 操作パネル	2-1
メッセージディスプレイ	2-2
メッセージディスプレイ内のその他の表示	2-3
キー	2-4
操作パネルの使いかた	2-6
メニュー選択の基本操作	2-6
モード選択メニューの設定方法	2-8
「レポート印刷」(レポート印刷の選択)	2-9
「メニューマップの印刷」(メニューマップの印刷)	2-9
「ステータスページの印刷」(ステータスページの印刷)	2-10
「フォントサンプルの印刷」(フォントサンプルの印刷)	2-12
「RAM ディスクファイル リストの印刷」(RAM ディスク・ファイルリストの印刷) 2-13	
「USB メモリー」(USB メモリーの選択)	2-14
「ファイルの印刷」(USB メモリーのファイルの印刷)	2-14
「部数」(ファイル印刷のコピー枚数の設定)	2-15
「給紙元」(ファイル印刷の給紙元の選択)	2-15
「デバイスの取り外し」(USB メモリーの取り外し)	2-15
「ファイルリストの印刷」(ファイルリストの印刷)	2-16
「カウンター」(カウンター値の選択)	2-17
「合計ページ数」(総印刷ページ数の表示)	2-17
「用紙の設定」(用紙の設定)	2-18
「手差しトレイ 用紙サイズ」(手差しトレイの用紙サイズの設定)	2-19
「手差しトレイ 用紙種類」(手差しトレイの用紙種類の設定)	2-20
「カセット (1～3) 用紙サイズ」(給紙カセットの用紙サイズの設定)	2-21
「カセット (1～3) 用紙種類」(給紙カセットの用紙種類の設定)	2-24
「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)	2-25
「種類の属性のリセット」(カスタム設定のリセット)	2-27

「印刷設定」(印刷の設定)	2-28
「給紙元」(給紙元の選択)	2-28
「自動カセット切替」(自動カセット切替の設定)	2-29
「手差しトレイ優先」(手差しトレイ優先給紙モード)	2-29
「給紙指定動作」(給紙元の設定)	2-30
「両面印刷」(両面印刷モードの設定)	2-31
「A4/LT 共通」(A4/Letter 用紙の共通給紙設定)	2-32
「エミュレーション」(エミュレーションモードの選択)	2-33
「フォントの選択」(初期フォントの設定)	2-35
「コードセット」(コードセットの設定)	2-37
「印刷品質」(印刷品質の設定)	2-38
「印刷環境」(印刷環境の設定)	2-40
「ジョブ名」(ジョブ名称表示設定)	2-45
「ネットワーク」(ネットワークの設定)	2-46
「TCP/IP」(TCP/IP (IPv4) の設定)	2-46
「TCP/IP (IPv6)」(TCP/IP (IPv6) の設定)	2-51
「プロトコル詳細」(ネットワークプロトコルの詳細設定)	2-53
「ネットワークの再起動」(ネットワークカードの再起動)	2-57
「オプションネットワーク」(オプションネットワークの設定)	2-58
「ID」(管理者 ID の入力)	2-58
「パスワード」(管理者パスワードの入力)	2-59
「TCP/IP」(オプションネットワークの TCP/IP (IPv4) の設定)	2-59
「TCP/IP (IPv6)」(オプションネットワークの TCP/IP (IPv6) の設定)	2-59
「NetWare」(NetWare の設定)	2-60
「AppleTalk」(AppleTalk の設定)	2-60
「IPSec」(IPSec の設定)	2-61
「LAN インターフェイス」(LAN インターフェイス設定)	2-61
「MAC アドレスフィルター」(MAC アドレスフィルタリング設定)	2-62
「通信」(使用するネットワークインターフェイスの選択)	2-62
「ネットワークの再起動」(オプションネットワークカードの再起動)	2-63
「デバイス全般」(デバイス全般の選択・設定)	2-64
「表示言語」(表示言語の選択)	2-64
「日時設定」(日付と時刻の設定)	2-65
「ブザー」(ブザーの設定)	2-68
「RAM ディスクモード」(RAM ディスクの操作)	2-70
「エラー処理」(エラー検知の設定)	2-71
「時間」(時間の設定)	2-74
「スリープレベル設定」(スリープレベルの設定)	2-78
「トナー少の通知レベル」(トナー補給のアラートレベルの設定)	2-81
「セキュリティー」(セキュリティー機能の設定)	2-84
「ID」(管理者 ID の入力)	2-84
「パスワード」(管理者パスワードの入力)	2-85
「インターフェイスブロック」(インターフェイス (外部機器) ブロックの設定) ..	

	2-85	
	「WSD-PRINT」(WSD プリントの設定)	2-87
	「Enhanced WSD」(Enhanced WSD の設定)	2-88
	「EnhancedWSD(SSL)」(EnhancedWSD(SSL) の設定)	2-88
	「IPP」(IPP の設定)	2-89
	「SSL サーバー」(SSL サーバーの設定)	2-89
	「IPSec」(IPSec の設定)	2-92
	「LAN インターフェイス」(LAN インターフェイス設定)	2-93
	「セキュリティレベル」(セキュリティレベルの設定)	2-93
	「管理者」(管理者の設定)	2-94
	「ID」(管理者 ID の入力)	2-94
	「パスワード」(管理者パスワードの入力)	2-94
	「ID の変更」(管理者 ID の変更)	2-95
	「パスワードの変更」(管理者パスワードの変更)	2-96
	「調整 / メンテナンス」(調整 / メンテナンスの選択・設定)	2-97
	「プリンターの再起動」(プリンターの再起動)	2-97
	「サービス」(保守・点検用)	2-98
3	オプション	3-1
	オプションについて	3-2
	拡張メモリー	3-3
	メモリーの取り付け	3-4
	拡張メモリーの取り外し	3-5
	拡張メモリーの確認	3-5
	ペーパーフィーダー (PF-100)	3-6
	ネットワークインターフェイスキット (IB-50)	3-6
	ワイヤレスインターフェイスキット (IB-51)	3-6
	その他のオプション	3-7
	USB メモリー	3-7
4	フォント	4-1
	内蔵フォント一覧	4-2
付録		付録 -1
	インターフェイス	付録 -2
	USB インターフェイス	付録 -2
	ネットワークインターフェイス	付録 -3
	環境設定コマンド	付録 -5
	環境設定コマンドの設定	付録 -5
	FRPO パラメーター	付録 -5
用語集		用語集 -1
索引		索引 -1



1 用紙について

この章では次の内容について説明します。

- 用紙の基本仕様 ...1-2
- 適正な用紙の選択 ...1-4
- 特殊な用紙 ...1-8

重要：本機にインクジェットプリンター用の用紙を使用しないでください。故障の原因になります。

用紙の基本仕様

本機は、ページプリンターおよび乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）に印刷できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙に印刷できます。

プリンターに適さない用紙を使用すると、紙づまりになったり紙にシワがよったりするので、用紙の選択は慎重に行ってください。

OHP フィルム、ラベル用紙、封筒などの用紙は、手差しトレイから給紙してください。

重要：再生紙は 1-2 ページの**用紙の基本仕様**のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印刷を行ってください。印刷結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

使用できる用紙

通常のページプリンターまたは乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。

用紙の品質は、プリンターの印刷品質にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと満足のできる結果が得られません。

用紙の基本仕様

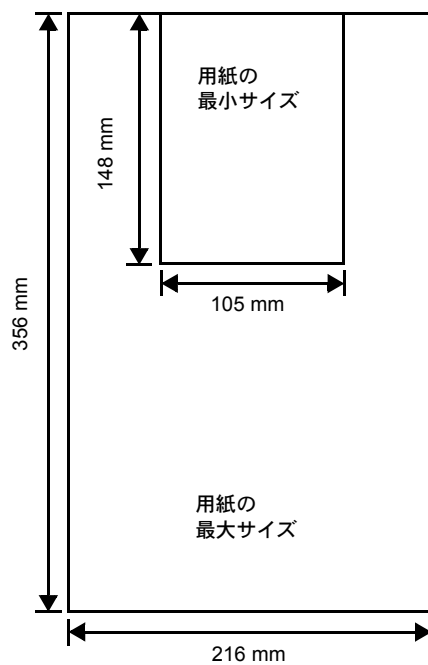
次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。詳細は以降のページで説明します。

項目	仕様
重さ	給紙カセット : 60 ~ 120 g/m ² 手差しトレイ : 60 ~ 220 g/m ²
厚さ	0.086 ~ 0.110 mm
寸法	1-4 ページの 用紙サイズ を参照してください。
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90 ±0.2 °
保水度	4 ~ 6 %
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 % 以上

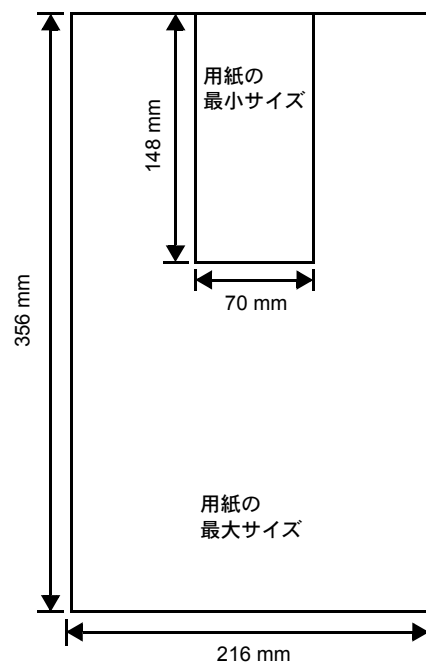
用紙の最大サイズと最小サイズ

用紙の最大サイズと最小サイズは次のとおりです。

給紙カセット



手差しトレイ



参考：オプションのペーパーフィーダー（PF-100）の最小サイズは、148×210 mmです。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

ガイドライン

紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙づまりを起こし、プリンターの寿命を縮めることになりかねません。用紙表面が滑らかで均一なものを選んでください。ただし、コーティング加工や、その他の表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めますので使用を避けてください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80% 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の 20% を超えないものをご使用ください。

用紙サイズ

次の表に記載したサイズの用紙が給紙カセットまたは手差しトレイで使用できます。詳細については、2-21 ページの「カセット（1～3）用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズの設定）を参照してください。

寸法誤差の許容範囲は縦横ともに ± 0.7 mm です。用紙四隅の角度は、 $90^\circ \pm 0.2^\circ$ のものを使用してください。

手差しトレイ	サイズ	給紙カセットまたは 手差しトレイ	サイズ
Envelope Monarch	3-7/8 × 7-1/2 インチ	Legal	8-1/2 × 14 インチ
Envelope #10	4-1/8 × 9-1/2 インチ	Letter	8-1/2 × 11 インチ
Envelope DL	110 × 220 ミリ	ISO A4	210 × 297 ミリ
Envelope #9	3-7/8 × 8-7/8 インチ	ISO A5	148 × 210 ミリ
Envelope #6-3/4	3-5/8 × 6-1/2 インチ	ISO A6	105 × 148 ミリ
JIS B6	128 × 182 ミリ	Envelope C5	162 × 229 ミリ
はがき	100 × 148 ミリ	ISO B5	176 × 250 ミリ
往復はがき	148 × 200 ミリ	JIS B5	182 × 257 ミリ
洋形 2 号	114 × 162 ミリ	Executive	7-1/4 × 10-1/2 インチ

手差しトレイ	サイズ	給紙カセットまたは 手差しトレイ	サイズ
洋形 4 号	105 × 235 ミリ	Oficio II	8-1/2 × 13 インチ
		Folio	210 × 330 ミリ
		Statement	5-1/2 × 8-1/2 インチ
		16K	197 × 273 ミリ
		216 × 340 mm	216 × 340 ミリ
Custom	給紙カセット : 140 × 210 ~ 216 × 356 ミリ ペーパーフィーダー (PF-100) : 148 × 210 ~ 216 × 356 ミリ 手差しトレイ : 70 × 148 ~ 216 × 356 ミリ		

用紙の特性

滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙 1 枚を 1 m² の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、プリンターの消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印刷がぼやけるなどの印刷品質の問題を引き起こすことがあります。

厚さ

ページプリンターで使用する用紙は極端に厚いものや、または薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起こることがあります。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性、定着後のカールなどに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は 4 ~ 6 % の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 用紙は購入時の箱や梱包紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも 48 時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

繊維の方向

用紙が製造される時、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようにカットされているものと、用紙の幅に対して繊維が垂直（横目）になるようにカットされているものがあります。横目の用紙はプリンターの給紙時に問題を起こす原因になりますので、用紙は縦目のものをお使いください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる紙は、プリンター内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。これを利用して、給紙カセットにセットする面を考えてカールを打ち消し合うようにすると、仕上がりがより平らになります。

静電気

トナーを付着させるために、印刷の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印刷がえられます。

品質について

サイズの不揃い、角がきちんとはとれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因でプリンターが正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようお勧めします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

ここでは、普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用できます。次にしたがって用紙種類を設定してください。

用紙	用紙種類設定
薄い用紙 (60 ~ 64 g/m ²)	薄紙
厚い用紙 (90 ~ 220 g/m ²)	厚紙
OHP フィルム	OHP フィルム
はがき	はがき
封筒	封筒
ラベル用紙	ラベル紙
再生紙	再生紙
カラー紙	カラー紙
プレ印刷用紙	プレプリント
ボンド紙	ボンド紙
レターヘッド	レターヘッド
パンチ済み用紙	パンチ済み紙
上質紙	上質紙
カスタム	カスタム (1 ~ 8)

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、特殊な用紙のうち、給紙カセットから給紙できるものもあります。詳細については、2-24 ページの「カセット (1 ~ 3) 用紙種類」(給紙カセットの用紙種類の設定) を参照してください。

特殊な用紙の選択

特殊用紙は次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙はサンプル用紙をプリンターで印刷してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意について次ページより説明します。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害が生じても当社は一切の責任を負いかねます。

参考：プリンタードライバーで用紙種類にラベル紙や厚紙を指定した場合、本機は自動的に半速モードになります。詳しくは、プリンタードライバー操作手順書を参照してください。

OHP フィルム

OHP フィルムは、印刷中の定着熱に耐えるものである必要があります。次の製品をお勧めします。

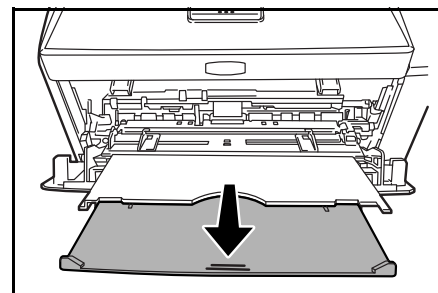
3M PP2500 (Letter、A4)

次の表は、本機で使用できる OHP フィルムの条件です。

項目	仕様
耐熱性	最低 190 °C までの熱に耐えること。
厚さ	0.100 ~ 0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°

トラブルを避けるために、OHP フィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向をプリンターに向けて）セットしてください。

OHP フィルムが頻繁に紙づまりを起こす場合は、排紙される際に OHP フィルムの先を引いてください。



ラベル用紙

ラベル用紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

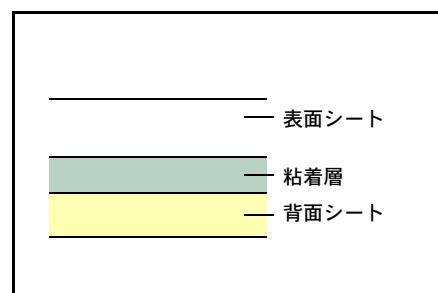
ラベル用紙を選択する際は、糊がプリンターのどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルがプリンター内に残ると故障の原因になります。

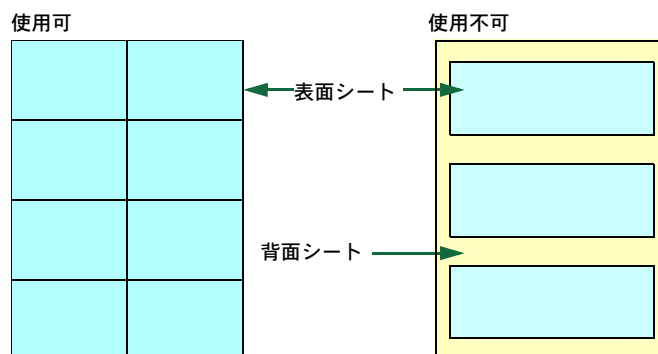
参考：ラベル用紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル用紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層はプリンター内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル用紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル用紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

ラベル用紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、印刷が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。





次の仕様に合ったラベル用紙を選んでください。

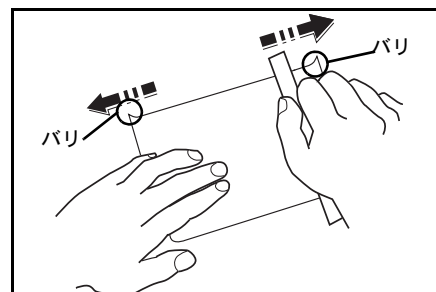
項目	仕様
表面シートの重さ	44 ~ 74 g/m ²
基本重量 (用紙全体の重さ)	104 ~ 151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086 ~ 0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115 ~ 0.145 mm
保水度	4 ~ 6% (混合)

はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるまま印刷を行うと、紙づまりの原因になります。

往復はがきに印刷する場合は、折り目のないものを使用してください。

また、はがきによっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。



封筒

封筒は必ず手差しトレイから給紙してください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、プリンターを通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

封筒は長時間放置しておくとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、次の点に留意してください。

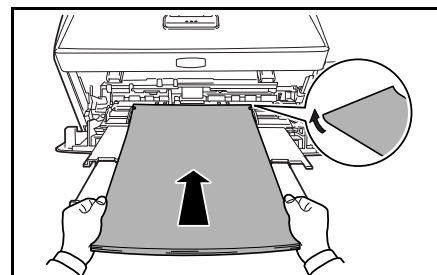
- 糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、プリンター内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。
- 封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打つてあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度にセットする封筒の枚数を少なくしてみてください。
- 複数の封筒を印刷する際は、紙づまりを避けるため排紙トレイに 10 枚以上残らないようご注意ください。

厚い用紙

厚い用紙はさばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。用紙によっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は用紙を平らなところに置き、1-10 ページの**はがき**と同様に定規のようなもので軽く 1～2 回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのまま印刷を行うと紙づまりの原因になります。

参考：バリを取り除いても給紙されない場合は、**図**を参考に次のように対応してください。

- 手差しトレイに 1 枚置く
- 給紙するときに用紙に手を添える
- 用紙の先端を数 mm 上にそらせてから手差しトレイにセットする



カラー紙

カラー紙は 1-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印刷中の熱（最高 200 °C）に耐えるものでなければなりません。

印刷済み用紙（プレプリント）

印刷済み用紙は 1-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクはプリンターでの印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工を施してある紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が 1-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。

参考：再生紙を購入する前に、印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

用紙の種類

本機は、使用できる用紙の種類を設定して印刷できます。

あらかじめ選択されている用紙だけでなく、カスタム用紙を選択し、重さを定義できます。用紙の種類は、操作パネルから定義できます。使用できる用紙の種類および出荷時の用紙の重さは、次のとおりです。なお、用紙の重さは、必要に応じて変更することができます。

用紙の種類	給紙元		
	手差しトレイ	給紙カセット	両面印刷
普通紙	○	○	○
OHP フィルム	○	×	×
プレプリント	○	○	○
ラベル紙	○	×	×
ポンド紙	○	○	○
再生紙	○	○	○
薄紙	○	×	×
レターヘッド	○	○	○
カラー紙	○	○	○
パンチ済み紙	○	○	○
封筒	○	×	×
はがき	○	×	×
厚紙	○	×	×
上質紙	○	○	○
カスタム 1 (to 8)†	○	○	○

† カスタムタイプは 8 種類まで登録できます。詳細は、2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)を参照してください。

2 操作パネル

この章では、操作パネルの使用方法を説明します。操作パネルでの設定は、お使いの環境に合わせた初期設定を行うときに使用します。通常は、アプリケーションソフトからのプリンタードライバーによる設定が優先されます。

プリンターの各種設定は、操作パネルやプリンタードライバーの他に Command Center RX など他のユーティリティを使用することにより、リモートで行うことも可能です。プリンターユーティリティは、プリンター付属の DVD-ROM からインストールできます。

- メッセージディスプレイ ...2-2
- キー ...2-4
- 操作パネルの使いかた ...2-6
- モード選択メニューの設定方法 ...2-8
- 「レポート印刷」(レポート印刷の選択) ...2-9
- 「USB メモリー」(USB メモリーの選択) ...2-14
- 「カウンター」(カウンター値の選択) ...2-17
- 「用紙の設定」(用紙の設定) ...2-18
- 「印刷設定」(印刷の設定) ...2-28
- 「ネットワーク」(ネットワークの設定) ...2-46
- 「オプションネットワーク」(オプションネットワークの設定) ...2-46
- 「デバイス全般」(デバイス全般の選択・設定) ...2-64
- 「セキュリティー」(セキュリティー機能の設定) ...2-84
- 「管理者」(管理者の設定) ...2-94
- 「調整 / メンテナンス」(調整 / メンテナンスの選択・設定) ...2-97

メッセージディスプレイ

メッセージディスプレイには、プリンターの各種動作状態を示すメッセージが表示されます。

ステータス情報

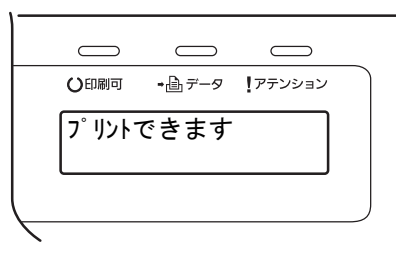
次のメッセージは、通常使用時の状態（ステータス）を表示するメッセージです。

メッセージ表示	意味
Self test	電源投入後のプリンターの自己診断中です。
しばらくお待ちください	プリンターはウォーミングアップ中です。印刷はできません。最初にプリンターの電源を入れた際は、このメッセージがしばらく表示されます。
お待ちください (トナー補給中)	トナーの補給中です。写真など多くのトナーを消費するデータを連続して印刷すると、このメッセージが表示されることがあります。
プリントできます	印刷できます。
データ処理中です	プリンターは印刷中か、データ処理中です。または、USB メモリーや RAM ディスクのデータを読み込んでいます。
低電力中です。	プリンターは低電力モードです。印刷データを受信すると、低電力モードから復帰し、ウォーミングアップ後に印刷できる状態になります。 プリンターが低電力モードへ移行するまでの時間は、2-76 ページの「低電力モード時間」（低電力モード時間の設定）を参照してください。
スリープ 中です	プリンターはスリープモード（省電力モード）です。印刷データを受信すると、スリープモードから復帰し、ウォーミングアップ後に印刷できる状態になります。 プリンターがスリープモードに移行するまでの時間は、2-76 ページの「スリープ時間」（スリープ（待機）時間の設定）を参照してください。
データキャンセル中	印刷データをキャンセルしています。印刷データのキャンセルの方法は、2-4 ページの【キャンセル】キーを参照してください。

エラーコード

メッセージディスプレイには、障害が発生した場合のエラーコードも表示されます。エラーコードについては、**使用説明書 5 困ったときは**を参照してください。

メッセージディスプレイ内のその他の表示



その他の表示

その他のインジケータとその意味を説明します。

表示	表示
○印刷可	<p>点滅： エラーが発生しています。使用説明書 5 困ったときは（エラーメッセージ）を参照してエラーの処理をしてください。</p> <p>点灯： 印刷ができる状態です。受信した印刷データは印刷されます。</p> <p>消灯： 「プリントできます」が表示されているときに [キャンセル] キーが押されました。印刷データの受信は可能です。印刷できる状態にするには、再度 [キャンセル] キーを押してください。</p> <p>印刷データをキャンセル中です。</p> <p>紙づまり、トナー切れ、カバーが開いているなどのエラーが発生しています。使用説明書 5 困ったときは（エラーメッセージ）を参照してエラーの処理をしてください。</p> <p>上記以外の理由の場合は、プリンターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。</p>
■データ	<p>点滅： プリンターは印刷データを受信しています。</p> <p>点灯： 印刷処理中です。または、RAM ディスクや USB メモリーにデータをアクセス中です。</p>
!アテンション	<p>点滅： 「しばらくお待ちください」が表示されている場合、プリンターは準備中です。</p> <p>用紙の補給、プリンターの清掃、メンテナンスキットの交換、トナーキットの用意が必要です。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処理を行ってください。詳しくは、使用説明書 5 困ったときは（エラーメッセージ）を参照してください。</p> <p>点灯： 紙づまり、トナー切れ、カバーが開いているなどのエラーが発生しています。使用説明書 5 困ったときは（エラーメッセージ）を参照してエラーの処理をしてください。エラーメッセージで「解除を押してください」と表示された場合は、[印刷可 / 解除] キーを押すと印刷が再開されます。</p> <p>セキュリティーまたはシステム管理で入力した ID やパスワードが間違っています。正しい ID およびパスワードを入力してください。</p>

キー

各キーの機能は次のとおりです。複数の機能を持っています。

[印刷可 / 解除] キー



印刷可 / 解除

- 特定のエラー解除を行います。
- スリープモードから復帰します。

[キャンセル] キー



キャンセル

- 実行中の印刷をキャンセルします。
- ブザーが鳴ったときに、ブザーを止めます。
- 入力した数値をリセットしたり、設定を途中で中止します。

印刷のキャンセルのしかた

- 1 メッセージディスプレイに「データ処理中です」が表示されていることを確認して、[キャンセル] キーを押します。
「印刷のキャンセル？」が表示され、現在のジョブ名が表示されます。
- 2 [△] または [▽] キーで中止したいジョブ名を選択して、[実行] キーを押します。
メッセージディスプレイに「データキャンセル中」が表示され、現在印刷中のページが出力された後、印刷を中止します。

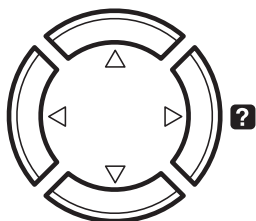
[メニュー] キー



メニュー

- モード選択メニューからプリンターの初期設定を変更するときや設定を終了するとき押しします。
- メニュー選択中に押すと、設定を中断して印刷可能状態に戻ります。

矢印キー



- 目的のメニューを表示させるときや、設定値の変更を行うときに使用します。[△] と [▽] キーでメニューを切り換えて、[<] と [▷] キーでサブメニューに移ります。
- 紙づまりなどが発生したときに [■] キーを押すと、メッセージディスプレイにオンラインヘルプメッセージを表示します。オンラインヘルプを中止するときは、もう一度押します。
- メッセージディスプレイに「代用給紙しますか？」が表示された際に、[△] と [▽] キーで代用する給紙元を選択します。

[実行] キー



- モード選択メニューで設定した内容を確定します。
- メッセージディスプレイに「代用給紙しますか？」が表示された際に、給紙元を確定します。

操作パネルの使いかた

ここでは、モード選択メニューについて説明します。

操作パネルの【メニュー】キーを使って、印刷ページ数やエミュレーションなどプリンターの環境を設定、変更できます。各設定はプリンターのメッセージディスプレイが「プリントできます」（または「データ処理中です」など）の表示のときに行えます。

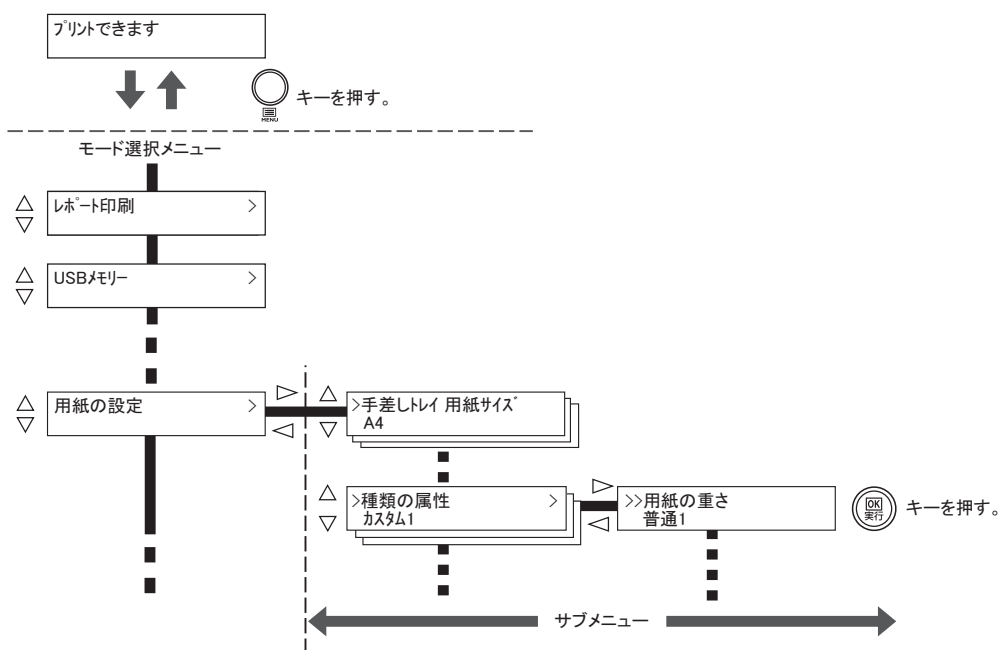
参考：操作パネルの設定よりも、アプリケーションやプリンタードライバーからの設定が優先されます。

メニュー選択の基本操作

モード選択メニューへの入りかた

プリンターが「プリントできます」表示状態のときに【メニュー】キーを押してください。

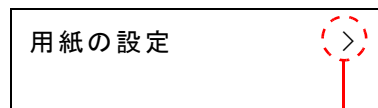
モード選択メニューが表示されます。



メニューの選択

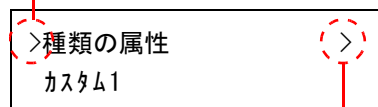
モード選択メニューは階層構造（ツリー構造）をしています。[△] または [▽] キーを押して、目的のメニューを表示させます。

- 選択したメニューにサブメニューがある場合は、メニュー名に続いて「>」が表示されます。



サブメニューがあることを示しています。

- サブメニュー名の前には「>」が表示されます。



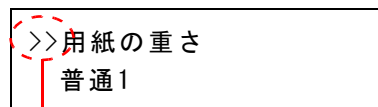
サブメニューであることを示しています。

さらにサブメニューがある場合は、サブメニュー名に続いて「>」が表示されます。さらに下の階層へ移動するときは [▷] を押してください。

さらにサブメニューがあることを示しています。

上の階層に戻るときは [◀] を押してください。

2階層目のサブメニュー名の前には「>>」が表示されます。



2階層目のサブメニューであることを示しています。

メニューの設定

目的のメニューを選択してから [実行] キーを押してください。そのメニューの設定操作に入りますので、[△] または [▽] キーを押して希望の表示を選択し、[実行] キーを押して確定してください。

メニュー操作の中断

メニュー操作中に [メニュー] キーを押すと、「プリントできます」表示状態に戻ります。

参考：操作パネルの設定よりも、アプリケーションやプリンタードライバからの設定が優先されます。

モード選択メニューの設定方法

ここではモード選択メニューから行う設定手順について、各メニューごとに説明します。

- 1 「プリントできます」、「しばらくお待ちください」、「データ処理中です」と表示されているときに [メニュー] キーを押すと、モード選択メニューが表示されます。(例:「レポート印刷」)



レポート印刷 >

- 2 [△] または [▽] キーを押すと、以下のモード選択メニューが循環して表示されます。
 - 「レポート印刷」(レポート印刷の選択)
 - 「USB メモリー」(USB メモリーの選択)
 - 「カウンター」(カウンター値の選択)
 - 「用紙の設定」(用紙の設定)
 - 「印刷設定」(印刷の設定)
 - 「ネットワーク」(ネットワークの設定)
 - 「オプションネットワーク」(オプションネットワークの設定)
 - 「デバイス全般」(デバイス全般の選択・設定)
 - 「セキュリティー」(セキュリティー機能の設定)
 - 「管理者」(管理者の設定)
 - 「調整 / メンテナンス」(調整 / メンテナンスの選択・設定)

参考：電源を入れ最初のモード選択をした場合、「レポート印刷」が表示されます。2回目以降は、前回最後に選択されたメニューが表示されます。

「レポート印刷」(レポート印刷の選択)

レポートの印刷をします。レポート印刷には以下の項目があります。

- 「メニューマップの印刷」(メニューマップの印刷)
- 「ステータスページの印刷」(ステータスページの印刷)
- 「フォントサンプルの印刷」(フォントサンプルの印刷)
- 「RAM ディスクファイル リストの印刷」(RAM ディスク・ファイルリストの印刷)

- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「レポート印刷 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



レポート印刷 >

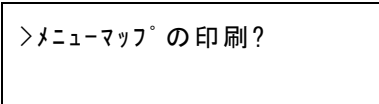
メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「メニューマップの印刷」(メニューマップの印刷)

モード選択メニューで表示されるすべてのメニューを印刷します。

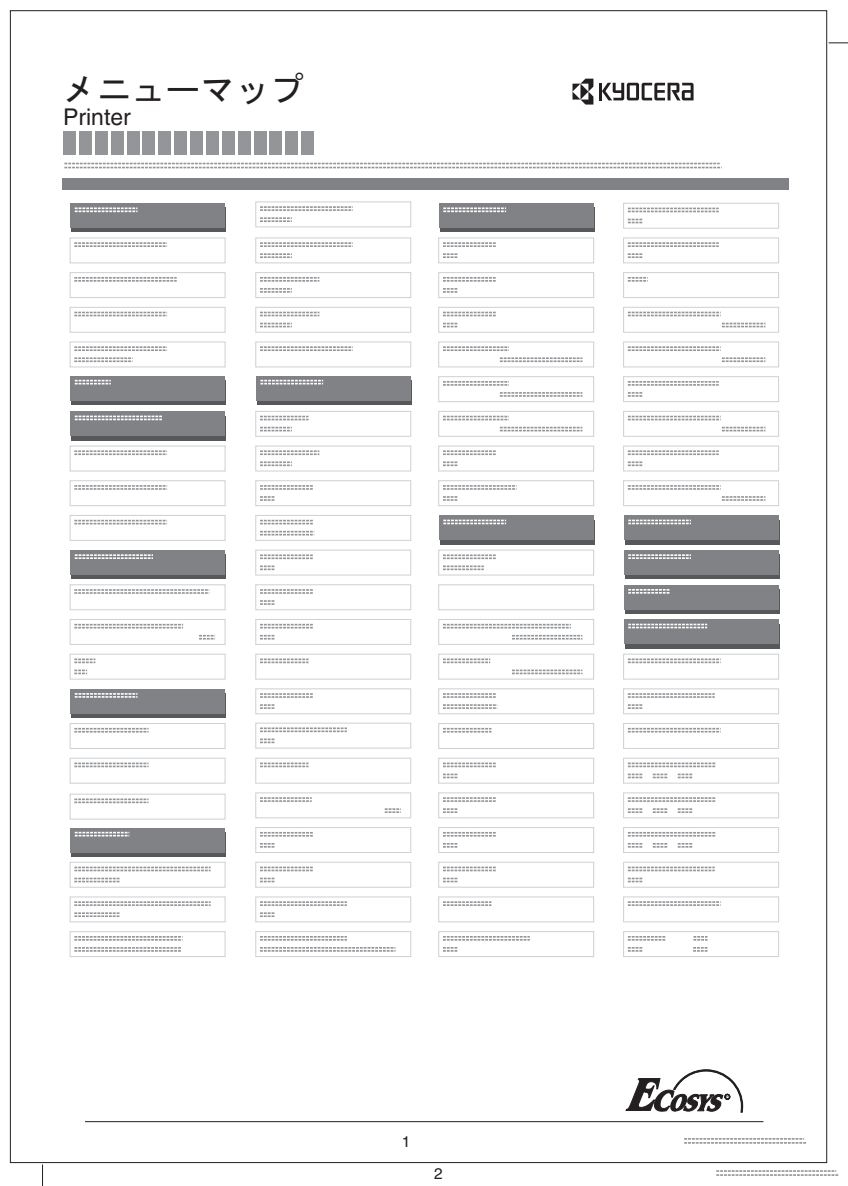
- 1 「レポート印刷 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>メニューマップの印刷」が表示されます。他の表示の場合、表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されま



>メニューマップの印刷?

- 4 [実行] キーを押してください。「データ処理中です」が表示され、メニューマップを印刷します。



「ステータスページの印刷」(ステータスページの印刷)

ステータスページを印刷して、プリンターの現在の設定状況、装着しているオプション機器などの情報を確認できます。

- 1 「レポート印刷 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>ステータスページの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が表示されます。

>ステータスページの印刷?

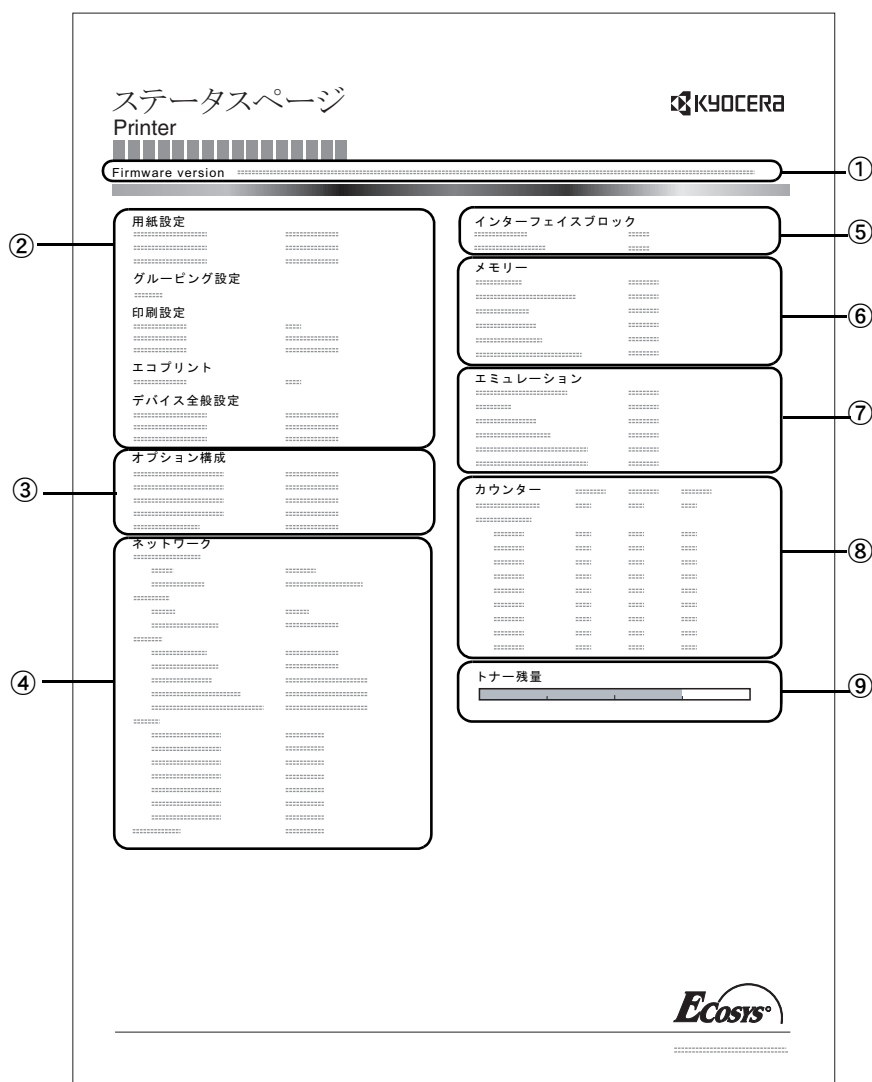
- 4 もう一度、[実行] キーを押すと、「データ処理中です」が表示され、ステータスページを印刷します。

ステータスページに記載されている各項目の説明は、次のステータスページの内容を参照してください。

ステータスページの内容

次はステータスページの印刷例です。各項目については次ページに説明があります。

参考：プリンターのファームウェアのバージョンにより、ステータスページに印刷される項目や値が異なる場合があります。



- ① **ファームウェア (Firmware Version)**
ファームウェアのバージョンと発行日です。
- ② **プリンター設定状況 (用紙設定、グルーピング設定、印刷設定、エコプリント、デバイス全般設定)**
カセットにセットされている用紙サイズと用紙種類、プリンターの主な設定項目についての情報を表示します。
- ③ **装着オプション (オプション構成)**
プリンターに装着されている、オプション機器の状態を表示します。
- ④ **ネットワークステータス (ネットワーク)**
ネットワーク関係の設定状態を表示します。TCP/IP欄には、IPアドレス、サブネットマスクアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。
- ⑤ **インターフェイス (インターフェイスブロック)**
USBメモリースロットや、USBインターフェイス、オプションインターフェイスのブロック状況を表示します。
- ⑥ **メモリー使用状況 (メモリー)**
プリンターに装着されている総メモリー、および現在のRAMディスクの状態が表示されます。
- ⑦ **エミュレーション (エミュレーション)**
現在設定されているエミュレーションに関する情報が表示されます。出荷時にはPCL6エミュレーションに設定されています。
- ⑧ **ページ情報 (カウンター)**
課金カウンター情報が表示されます。総印刷ページ数、用紙サイズ毎の印刷ページ数が表示され、それぞれのカウンターについて、カラー/白黒/合計ごとに表示されます。
- ⑨ **消耗品 (トナー残量)**
トナーコンテナ各色の、およそのトナー残量を表示します。100から0に近づくほどトナーの残量が少なくなります。

「フォントサンプルの印刷」 (フォントサンプルの印刷)

フォント選択の目安となる、フォントリストを印刷できます。

- 1 「レポート印刷 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>フォントサンプルの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されま

>フォントサンプルの印刷?

- 4 [実行] キーを押してください。「データ処理中です」が表示され、フォントサンプルを印刷します。

「RAM ディスクファイル リストの印刷」(RAM ディスク・ファイルリストの印刷)

RAM ディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。

注意：RAM ディスクモードが ON のとき表示されます。

- 1 「レポート印刷 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「> RAM ディスクファイル リストの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されま
す。

>RAMディスクファイル
リストの印刷?
- 4 [実行] キーを押してください。「データ処理中です」が表示され、RAM ディスク・ファイルリストを印刷します。

「USB メモリー」 (USB メモリーの選択)

USB メモリーの取り外しやメモリー内の印刷設定をします。

USB メモリーを装着すると、USB メモリーメニューが自動的に表示されます。

注意：このメニューは、USB メモリースロットのブロック設定が「ブロックしない」に設定されている場合のみ表示されます。詳細は、2-85 ページの「インターフェイスブロック」(インターフェイス (外部機器) ブロックの設定) を参照してください。

USB メモリーの選択には以下の項目があります。

- 「ファイルの印刷」(USB メモリーのファイルの印刷)
「部数」(ファイル印刷のコピー枚数の設定)
「給紙元」(ファイル印刷の給紙元の選択)
- 「デバイスの取り外し」(USB メモリーの取り外し)
- 「ファイルリストの印刷」(ファイルリストの印刷)

1 [メニュー] キーを押してください。

2 「USB メモリー >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

USBメモリー >

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「ファイルの印刷」 (USB メモリーのファイルの印刷)

USB メモリー内にあるファイルの印刷設定ができます。

1 「USB メモリー >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>ファイルの印刷」が表示されます。他の表示の場合、表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されます。もう一度、[実行] キーを押すと、フォルダーもしくはファイルが表示されます。(例：フォルダー 1)

/
/00:フォルダ[°]-1

[△] または [▽] キーを押すと、フォルダーもしくはファイルを循環して表示します。

下位のフォルダーもしくはファイルがある場合、[▷] キーを押すと表示します。(例：フォルダー 2)

/00:フォルダ[°]-1
/01:フォルダ[°]-2

さらに、下位のファイルがある場合、[▷] キーを押すと表示します。(例：ファイル 3)

/.../01:フォルダ[°]-2
02:ファイル3

注意：フォルダーもしくはファイル表示は3階層までです。USBメモリーの容量やファイル数によっては、表示に時間がかかる場合があります。

[△] または [▽]、[<] または [▷] キーを押すことにより、フォルダーの階層を移動できます。

- 4 [実行] キーを押してください。「?」が表示されません。(例：ファイル3)

```
/. . . /01:フォルダ-2
? 02:ファイル3
```

- 5 [実行] キーを押してください。「部数」(ファイル印刷のコピー枚数の設定)が表示されます。

```
部数
001
```

「部数」(ファイル印刷のコピー枚数の設定)

USBメモリー内で指定したファイルの印刷部数を設定します。

注意：RAMディスクが設定されている場合のみ表示されます。

- 1 上記手順5の「部数」表示中に、[△] または [▽]、[<] または [▷] キーを押して印刷部数を表示させてください。(例：10部)

```
部数
010
```

- 2 [実行] キーを押してください。「給紙元」(ファイル印刷の給紙元の選択)と「?」が表示されます。

```
給紙元
? カセット 1
```

「給紙元」(ファイル印刷の給紙元の選択)

USBメモリー内で指定したファイルの印刷用紙を設定します。

- 1 上記手順2の「給紙元」表示中に、[△] または [▽] キーを押して給紙元を表示させてください。(例：カセット2)

```
給紙元
? カセット 2
```

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

- 2 [実行] キーを押してください。「データ処理中です」が表示され、USBメモリー内のファイルを印刷します。

「デバイスの取り外し」(USBメモリーの取り外し)

USBメモリーの取り外しを設定します。

- 1 「USBメモリー >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>デバイスの取り外し」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されま

>デバイスの取り外し?

4 [実行] キーを押してください。メニューが終了し、USB メモリーを取り外すことができます。

「ファイルリストの印刷」(ファイルリストの印刷)

USB メモリー内にあるファイルのリストを印刷できます。

1 「USB メモリー >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>ファイルリストの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されま

>ファイルリストの印刷?

4 [実行] キーを押してください。「データ処理中です」が表示されファイルリストを印刷します。

「カウンター」(カウンター値の選択)

印刷ページ数の表示を行います。

カウンター値の選択には以下の項目があります。

- 「合計ページ数」(総印刷ページ数の表示)

- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「カウンター >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

カウンター	>
-------	---

「合計ページ数」(総印刷ページ数の表示)

総印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

- 1 「カウンター >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>合計ページ数」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。総印刷ページが表示されます。(例：2000000)

>合計ページ数	2000000
---------	---------

- 3 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「用紙の設定」(用紙の設定)

手差しトレイやカセット、各給紙元の用紙サイズと用紙の種類を設定します。

用紙の設定には以下の項目があります。

- 「手差しトレイ 用紙サイズ」(手差しトレイの用紙サイズの設定)
- 「手差しトレイ 用紙種類」(手差しトレイの用紙種類の設定)
- 「カセット (1～3) 用紙サイズ」(給紙カセットの用紙サイズの設定)
- 「カセット (1～3) 用紙種類」(給紙カセットの用紙種類の設定)
- 「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)
- 「種類の属性のリセット」(カスタム設定のリセット)

- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「用紙の設定 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

用紙の設定 >

用紙種類の設定

給紙カセットや手差しトレイの用紙種類を設定します。印刷時にプリンタードライバーで用紙種類を選択できるようになります。

また、本機に登録されている用紙種類の他に、任意の用紙種類を設定できます。詳しくは、2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定) を参照してください。

設定できる用紙の種類は、給紙元によって異なります。次の表を参照してください。詳しくは、用紙についてを参照してください。

用紙種類	給紙元	手差しトレイ	給紙カセット	ペーパーフィーダー (オプション、PF-100)
普通紙 [64～90 g/m ²]		○	○	○
OHP フィルム		○	×	×
プレプリント		○	○	○
ラベル紙		○	×	×
ポンド紙		○	○	○
再生紙 [64～90 g/m ²]		○	○	○
薄紙 [64 g/m ² 未満]		○	×	×
レターヘッド		○	○	○
カラー紙 [64～90 g/m ²]		○	○	○
パンチ済み紙		○	○	○
封筒		○	×	×
はがき		○	×	×

厚紙 [120 ~ 220 g/m ²]	○	×	×
上質紙	○	○	○
カスタム#	○	○	○

○：用紙種類を設定できます。 ×：用紙種類を設定できません。

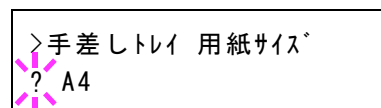
「手差しトレイ 用紙サイズ」(手差しトレイの用紙サイズの設定)

手差しトレイから給紙する用紙に正しく印刷するために、次の手順で用紙サイズを設定してください。工場出荷時は、A4 サイズに設定されています。

手差しトレイから給紙できる用紙サイズについては、**用紙について**を参照してください。

参考：本メニューで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙を、手差しトレイにセットしてください。サイズが一致しないと紙づまりの原因になります。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>手差しトレイ 用紙サイズ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する用紙サイズを表示させてください。表示されるサイズは次のとおりです。

Envelope Monarch
Envelope #10 (Commercial #10)
Envelope DL
Envelope C5
Executive
Letter
Legal
A4
B5
A5
A6
B6
Envelope #9 (Commercial #9)
Envelope #6 (Commercial #6 3/4)
ISO B5
カスタム
はがき
往復はがき
Oficio II
216 x 340mm
16K
Statement
Folio
洋形2号
洋形4号

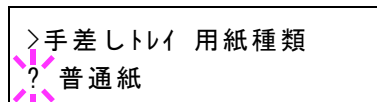
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「手差しトレイ 用紙種類」(手差しトレイの用紙種類の設定)

手差しトレイから給紙できる用紙種類を設定できます。工場出荷時の設定は「普通紙」に設定されています。

用紙の種類については、**用紙について**を参照してください。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>手差しトレイ 用紙種類」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次のとおりです。

普通紙
 OHPフィルム
 プレプリント
 ラベル紙
 ボンド紙
 再生紙
 薄紙
 レターヘッド
 カラー紙
 パンチ済み紙
 封筒
 はがき
 厚紙
 上質紙
 カスタム 1 (~8)

参考 : 「カスタム」を選択した場合、任意の用紙種類を定義してプリンターに登録しておくことができます。詳しくは、2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定) を参照してください。

- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「カセット (1 ~ 3) 用紙サイズ」(給紙カセットの用紙サイズの設定)

本機の給紙カセットに用紙をセットする場合は、給紙カセットに用紙をセットし、操作パネルで用紙サイズを調整してください。

また、オプションのペーパーフィーダー PF-100 を装着している場合には、ペーパーフィーダーの給紙カセットも同じ手順で設定します。

- 1 プリンターから給紙カセットを引き出します。
- 2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙ガイドを調整し、用紙をカセットにセットします。

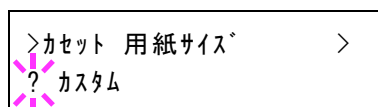
操作パネルからの用紙サイズの設定については、次項を参照してください。

操作パネルからの用紙サイズの設定

操作パネルから、給紙カセットにセットした用紙のサイズをプリンターに設定します。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>カセット 用紙サイズ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。オプションのペーパーフィーダーを装着している場合は、「カセット 1 用紙サイズ」がプリンターの給紙カセットとして、「カセット 2 用紙サイズ」、「カセット 3 用紙サイズ」がオプションのペーパーフィーダーとして表示されます。

- 3 【実行】 キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 【△】 または 【▽】 を押して、セットする用紙サイズを表示させてください。表示される用紙サイズは次のとおりです。

Envelope C5
Executive
Letter
Legal
A4
B5
A5
A6
ISO B5
カスタム
Oficio II
216 x 340 mm
16K
Statement
Folio

参考 : 「A6」、「Statement」は、「カセット 用紙サイズ」もしくは「カセット1 用紙サイズ」の場合に表示されます。

- 5 希望の用紙サイズを表示させて【実行】 キーを押してください。給紙カセットの用紙サイズが設定されます。手順4で「カスタム」を選んだ場合は次の項目で用紙の幅と長さを設定してください。

「単位」(単位の設定)

まず、次の手順で単位を設定します。

- 1 【▷】 キーを押してください。
- 2 「>>単位」が表示されます。単位はミリまたはインチが選択でき、現在設定されている単位が表示されます。(初期設定は「ミリ」です)

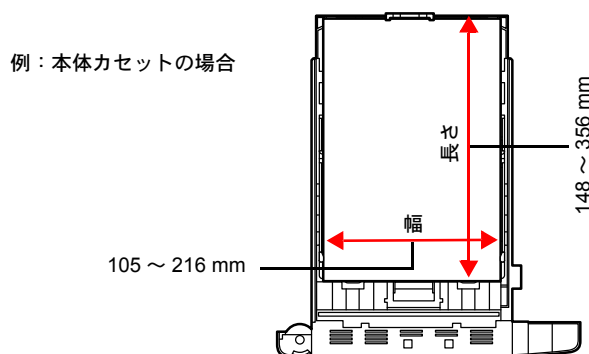
- 3 【実行】 キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 【△】 または 【▽】 キーを押して「ミリ」または「インチ」を選択してください。
- 5 【実行】 キーを押してください。

用紙幅と用紙長さの設定

次に、次の手順で用紙の幅と長さを設定します。図のように用紙サイズの「幅」と「長さ」を入力してください。



- 1 [▽] キーを押してください。下のような「>>幅」(用紙幅設定)が表示されます。
- 2 [実行] キーを押すと、カーソル () が点滅します。

>>幅

216 ミリ
- 3 [△] または [▽] キーを使って、カーソルが点滅している場所の数値を変更してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。
各カセットで設定できる用紙幅の範囲は、以下の通りです。
 - 本体カセット：105 ~ 216mm
 - ペーパーフィーダー (オプション) PF-100：148 ~ 216 mm
- 4 希望の用紙幅を表示させて、[実行] キーを押してください。
- 5 用紙幅を設定後、[▽] キーを押してください。「>>長さ」(用紙長設定)が表示されます。用紙幅と同様の手順で用紙長を設定してください。
各カセットで設定できる用紙長の範囲は、以下の通りです。
 - 本体カセット：148 ~ 356 mm
 - ペーパーフィーダー (オプション) PF-100：210 ~ 356 mm
- 6 希望の用紙長を表示させて、[実行] キーを押してください。
- 7 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

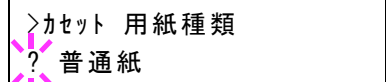
「カセット（1～3）用紙種類」（給紙カセットの用紙種類の設定）

給紙カセットごとに用紙種類を設定すると、印刷時にアプリケーションから指定した用紙種類に合わせて、自動的に給紙カセットが選択されて給紙します。工場出荷時は「普通紙」に設定されています。

オプションのペーパーフィーダー PF-100 を装着している場合は、ペーパーフィーダーの給紙カセットにも、同様の手順で用紙種類を設定できます。

給紙カセットから給紙できる用紙の種類について、詳しくは用紙についてを参照してください。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>カセット 用紙種類」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。オプションのペーパーフィーダーを装着している場合は、「カセット 1 用紙種類」がプリンターの給紙カセットとして、「カセット 2 用紙種類」、「カセット 3 用紙種類」がオプションのペーパーフィーダーとして表示されます。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



>カセット 用紙種類
? 普通紙

- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望するカセットの用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次のとおりです。

普通紙
プレプリント
ボンド紙
再生紙
レターヘッド
カラー紙
パンチ済み紙
上質紙
カスタム 1 (~ 8)¹

- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

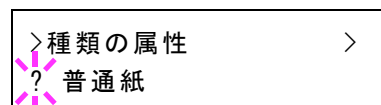
1 任意の用紙種類を定義して、プリンターに登録しておくことができます。詳しくは、2-25 ページの「種類の属性」（用紙種類のカスタム設定）を参照してください。

「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)

プリンターに任意の用紙種類を設定するカスタム設定は、最大8個まで登録できます。設定後は、各給紙元の用紙種類設定時に呼び出すことができます。

用紙種類のカスタム設定を行った後に、紙の厚さと両面印刷の設定を行います。詳しくは2-25ページの「用紙の重さ」(紙の厚さ設定)と、2-27ページの「両面印刷の給紙」(両面印刷給紙の設定)を参照してください。カスタム設定をリセットするには、2-27ページの「種類の属性のリセット」(カスタム設定のリセット)を参照してください。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>種類の属性 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次の通りです。

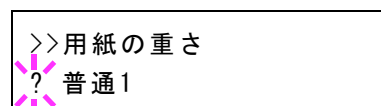
普通紙
 OHPフィルム
 プレプリント
 ラベル紙
 ボンド紙
 再生紙
 薄紙
 レターヘッド
 カラー紙
 パンチ済み紙
 封筒
 はがき
 厚紙
 上質紙
 カスタム 1 (~8)

- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [▷] キーを押して、次の紙の厚さ設定へ進んでください。

「用紙の重さ」(紙の厚さ設定)

カスタム設定で選択した用紙種類の紙の厚さを設定します。

- 1 カスタム設定の用紙種類を表示し (2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)を参照してください)、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>用紙の重さ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する紙の厚さを表示させてください。表示される紙の厚さは次のとおりです。(坪量は目安です。)

軽い (60~64g/m²)
 普通1 (60~75 g/m²)
 普通2 (75~90 g/m²)
 普通3 (90~105 g/m²)
 重い1 (105~135 g/m²)
 重い2 (135~163 g/m²)
 重い3 (164~220 g/m²)
 OHP

初期設定は下記のとおりです。

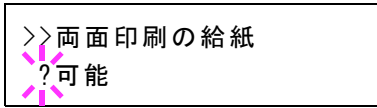
用紙種類	紙の厚さ
普通紙	普通 1
OHP フィルム	OHP
プレプリント	普通 1
ラベル紙	重い 1
ボンド紙	普通 3
再生紙	普通 1
薄紙	軽い
レターヘッド	普通 3
カラー紙	普通 3
パンチ済み紙	普通 2
封筒	重い 3
はがき	重い 3
厚紙	重い 3
上質紙	普通 2
カスタム 1 (~ 8)	普通 2

- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

用紙種類を「カスタム」に設定している場合は、両面印刷の設定ができます。次の「両面印刷の 給紙」(両面印刷給紙の設定) を参照してください。

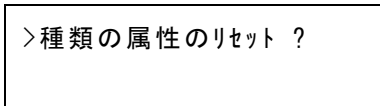
「両面印刷の 給紙」(両面印刷給紙の設定)

用紙種類を「カスタム」に設定している場合は、両面印刷の設定を次の手順で行えます。初期設定は「可能」に設定されています。

- 1 カスタム設定の用紙種類を表示させて（詳しくは2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)を参照してください)、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>両面印刷の 給紙」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「可能」または「不可能」を選択してください。それぞれの用紙種類の初期設定について、詳しくは1-2 ページの用紙の基本仕様を参照してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「種類の属性のリセット」(カスタム設定のリセット)

2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)で設定したすべての種類について属性の設定をリセットします。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>種類の属性のリセット」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が表示されます。
- 4 [実行] キーを押してください。設定した紙の厚さの設定および両面印刷の設定は、すべて初期設定値にリセットされます。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

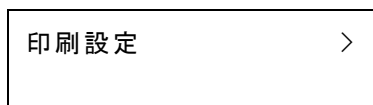
「印刷設定」(印刷の設定)

印刷時の階調設定、光沢の強弱、印刷枚数や縮小印刷、印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

- 「給紙元」(給紙元の選択)
- 「自動カセット切替」(自動カセット切替の設定)
- 「手差しトレイ優先」(手差しトレイ優先給紙モード)
- 「給紙指定動作」(給紙元の設定)
- 「両面印刷」(両面印刷モードの設定)
- 「A4/LT 共通」(A4/Letter 用紙の共通給紙設定)
- 「エミュレーション」(エミュレーションモードの選択)
- 「フォントの選択」(初期フォントの設定)
- 「コードセット」(コードセットの設定)
- 「印刷品質」(印刷品質の設定)
- 「印刷環境」(印刷環境の設定)
- 「ジョブ名」(ジョブ名称表示設定)

- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「印刷設定 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「給紙元」(給紙元の選択)

給紙元を設定します。アプリケーションからの印刷で給紙元を指定しないときは、ここで設定した給紙元から給紙されます。給紙カセットや手差しトレイのほかに、オプションのペーパーフィーダーを給紙元として設定することもできます。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>給紙元」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して希望する給紙元を表示させてください。装着されているオプション機器によって、次のように表示されます。

カセット(プリンターの標準カセットのみ使用)
 カセット 1~3(オプションのペーパーフィーダーのカセット装着時)
 手差しトレイ

- 5 [実行] キーを押してください。

- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「自動カセット切替」(自動カセット切替の設定)

印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択できます。設定できる項目は、次のとおりです。初期値は、「オン」です。

項目	説明
オフ	<p>「カセット # から給紙します」(# はカセットの番号) または「手差しから給紙します」と表示して印刷を停止します。</p> <p>メッセージに表示されたカセットまたは手差しトレイに用紙をセットすると、印刷を再開します。</p> <p>他の給紙カセットから印刷する場合は、[△] または [▽] キーを押して「代用給紙しますか?」を表示させ、[△] または [▽] キーを押して給紙元を選択後、[実行] キーを押してください。</p>
オン	用紙サイズと種類が一致する他の給紙カセットがあるときは、印刷を自動的に継続します。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>自動カセット切替」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>自動カセット切替
 ? オン
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。


注意：自動カセット切替は、Command Center RX から設定できます。Command Center RX にアクセスした後、**基本 > 初期設定 > デバイスの初期設定** ページで設定してください。Command Center RX へのアクセス方法については、**Command Center RX 操作手順書**を参照してください。

「手差しトレイ優先」(手差しトレイ優先給紙モード)

手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。初期値は、「オフ」です。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>手差しトレイ優先」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



>手差しトレイ優先
? オフ

- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する手差しトレイ優先モードを表示させてください。表示される手差しトレイ優先モードは以下のとおりです。

「オフ」(プリンタードライバーの設定に従います)

「自動給紙時」(プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。)

「常時」(手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイから給紙します。)

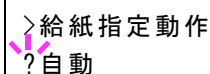
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「給紙指定動作」(給紙元の設定)

給紙元(カセット、トレイ)と用紙の種類を指定している場合、給紙の仕方を指定する機能です。「自動」にすると、用紙のサイズ、種類が合致した給紙元を検索し、一致した給紙元より用紙を送ります。「固定」にすると、指定した給紙元が合致しない場合、「エラー処理」の「用紙ミスマッチエラー」で設定した動作を行います。「固定」時の給紙動作については、2-72 ページの「用紙ミスマッチエラー」(給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定)を参照してください。初期設定は「自動」です。設定を変更する場合は、次の手順で行ってください。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>給紙指定動作」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



>給紙指定動作
? 自動

- 4 [△] または [▽] キーを押して、「自動」または「固定」を表示させてください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

印刷途中で用紙がなくなったとき

給紙指定動作を「固定」に設定した場合、印刷途中で給紙カセットの用紙がなくなると、「カセット1から給紙します」と表示して待機します。この場合は、用紙がなくなった給紙カセットに用紙を補給するか、次の手順で他の給紙元から印刷を行います。

- 1 「カセット1から給紙します」を表示中に、「代用給紙しますか？」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 希望する給紙元およびサイズが表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
[△] または [▽] キーを押すごとに、他の給紙カセットあるいは手差しトレイの現在使用できる給紙サイズが表示されます。
- 3 [実行] キーを押してください。印刷が続行されます。

「両面印刷」(両面印刷モードの設定)

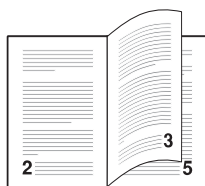
両面印刷が可能な用紙の種類は、給紙カセットから給紙できる用紙です。手差しトレイからのみ給紙できる用紙種類(OHPフィルム、ラベル紙、薄紙、封筒、はがき、加工紙)は、両面印刷できません。(2-18 ページの用紙種類の設定を参照)。

注意：手差しトレイから両面印刷する場合、給紙カセットから給紙できる用紙を使用しないと、紙づまりの原因となりますのでご注意ください。

製本モードの設定

製本モードには縁の長い側をとじるロングエッジ(長辺とじ)と、縁の短い側をとじるショートエッジ(短辺とじ)の2種類があります。ロングエッジまたはショートエッジは、プリンターの縦置き(ポートレート)印刷や横置き(ランドスケープ)印刷と組み合わせることで選択できます。したがって、製本の種類および印刷方向によって、製本モードは次の4通りが設定できます。

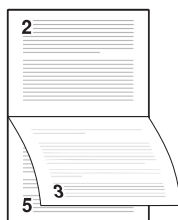
(1) 縦置き・
ロングエッジ



(2) 縦置き・
ショートエッジ




(3) 横置き・
ロングエッジ



(4) 横置き・
ショートエッジ

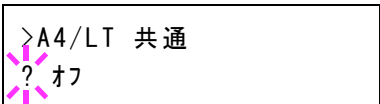


参考：プリンタードライバーのブックレット機能と組み合わせると、中とじ製本の可能な、ページ割付け印刷ができます。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>両面印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する製本モードを表示させてください。表示されるモードは次のとおりです。
オフ(初期設定)
短辺とじ
長辺とじ
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「A4/LT 共通」(A4/Letter 用紙の共通給紙設定)

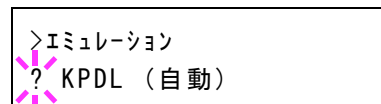
この設定を「オン」にすると、A4 サイズと Letter を区別せずに給紙を行います。工場出荷時の設定は「オフ」(A4 サイズと Letter を区別する)になっています。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>A4/LT 共通」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「エミュレーション」(エミュレーションモードの選択)

インターフェイスごとに異なるエミュレーションを設定できます。次の手順で選択してください。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[D] キーを押してください。
- 2 「>エミュレーション >」が表示されるまで、[Δ] または [▽] キーを押してください。現在選択されているエミュレーションが表示されます。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [Δ] または [▽] キーを押して、希望するエミュレーションを表示させてください。次のエミュレーションが、選択できます。

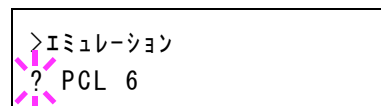
PCL 6(初期設定)
 KPDL (PostScriptレベル3互換)
 KPDL (自動)(自動選択)
 Line Printer
 IBM Proprinter
 EPSON LQ-850

- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

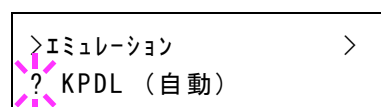
「KPDL (自動)」の代替エミュレーションの選択

エミュレーションの選択で「KPDL (自動)」を選択すると、印刷するデータに応じて KPDL と代替エミュレーションを自動的に切り替えます。初期設定の代替エミュレーションは「PCL 6」です。代替エミュレーションの変更は、次の手順で行ってください。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[D] キーを押してください。
- 2 「>エミュレーション >」が表示されるまで、[Δ] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

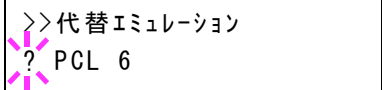


- 4 [Δ] または [▽] キーを押して、「KPDL」または「KPDL (自動)」を選択して、[実行] キーを押してください。



- 5 [D] キーを押してください。「>>代替エミュレーション」が表示されるまで、[Δ] または [▽] キーを押してください。現在設定されている代替エミュレーション名も表示されます。

- 6 【実行】キーを押すと、「?」が点滅します。



>>代替エミュレーション
? PCL 6

- 7 【△】または【▽】キーを押して、設定したいエミュレーションを選択してください。

- 8 【実行】キーを押してください。

- 9 【メニュー】キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

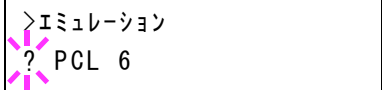
「エラーレポート」(KPDL エラーの印刷)

KPDL エミュレーションモードで印刷中に、エラーが発生した際にその内容を印刷します。初期設定は、印刷しない設定（オフ）です。KPDL エラーを印刷するには、次の手順で設定を変更してください。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、【▷】キーを押してください。

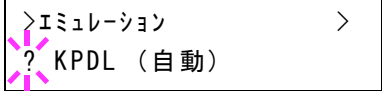
- 2 「>エミュレーション >」が表示されるまで、【△】または【▽】キーを押してください。

- 3 【実行】キーを押すと、「?」が点滅します。



>エミュレーション
? PCL 6

- 4 【△】または【▽】キーを押して、「KPDL」または「KPDL (自動)」を選択して、【実行】キーを押してください。

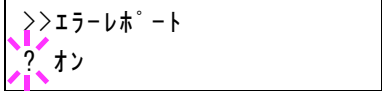


>エミュレーション >
? KPDL (自動)

- 5 【▷】キーを押してください。「>>エラーレポート」が表示されるまで、【△】または【▽】キーを押してください。初期設定は「オフ」になっています。

- 6 【実行】キーを押すと、「?」が点滅します。

- 7 【△】または【▽】キーを押して、「オン」を表示させてから、【実行】キーを押してください。



>>エラーレポート
? オン

- 8 【メニュー】キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「フォントの選択」(初期フォントの設定)

フォントを選択できます。プリンター内蔵フォントだけでなく、プリンターのメモリーにフォントをダウンロードしている場合は、初期フォントとして設定できます。また、フォントの太さ、サイズ、ピッチなども設定できます。

参考：フォントの種類に応じて、サイズまたはピッチのどちらかが設定できます。

フォントの選択


- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>フォントの選択 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。プリンターの内蔵フォントを選択する場合は、「標準」を選択します。
- 3 [▷] キーを押します。「>> 1000」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

内蔵フォント以外のオプションフォントを選択する場合は、手順2の「フォントの選択」表示中に[実行] キーを押してください。[△] または [▽] キーを押して「オプション」を表示させ、[実行] キーを押してください。その後に [▷] キーを押すと、上記のようにフォント選択表示に変わります。この操作はオプションのフォントがプリンターにある場合のみ行えます。

フォント番号の前に表示されるアルファベットは、フォントの種類によって次のように表示されます。

表示	説明
I	プリンター内蔵欧文フォント
IJ	プリンター内蔵日本語フォント
S0	欧文ダウンロードフォント
SJ	日本語ダウンロードフォント

- 4 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



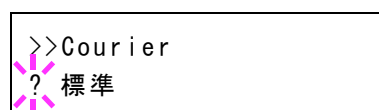
- 5 希望のフォント番号が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。内蔵フォントの番号は4-2 ページの内蔵フォント一覧および2-12 ページの「フォントサンプルの印刷」(フォントサンプルの印刷)を参照してください。
- 6 [実行] キーを押してください。
- 7 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

Courier/Letter Gothic フォントの太さ選択

このメニューでは、Courier/Letter Gothic フォントの太さを、2種類から選択できます。
ここでは、Courier フォントの太さを変える例を説明します。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>フォントの選択 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 「標準」が表示されていることを確認して [▷] キーを押してください。
- 4 「>> Courier」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
Letter Gothic フォントの太さを変える場合は、「>> Letter Gothic」を表示させます。

- 5 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



- 6 [△] または [▽] キーで「標準」または「太い」を選択します。
- 7 [実行] キーを押してください。
- 8 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

フォントの文字ピッチの設定

フォントの文字ピッチの設定ができます。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>フォントの選択 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 「標準」が表示されていることを確認して [▷] キーを押してください。
- 4 「>>ピッチ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 5 [実行] キーを押すと、カーソル () が点滅します。



- 6 文字ピッチを変更します。カーソルが点滅している位置で [△] または [▽] キーを押して、数値を増減します。0.01 cpi ごとに 0.44 ~ 99.99 cpi の範囲で設定できます。
[◀] または [▶] キーを押すと、カーソルを左右に移動できます。
- 7 [実行] キーを押してください。
- 8 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

フォントサイズの設定

上記で初期フォントに設定したフォントのサイズを設定します。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>フォントの選択 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [▷] キーを押してください。
- 4 「>>サイズ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 5 [実行] キーを押してください。カーソル () が点滅します。

>>サイズ*
 010.00*ポイント
- 6 フォントサイズを変更します。カーソルが点滅している位置で [△] または [▽] キーを押して、数値を増減します。0.25 ポイントごとに 4 ~ 999.75 ポイントの範囲で設定できます。
[◀] または [▷] キーを押すと、カーソルを左右に移動できます。
- 7 [実行] キーを押してください。
- 8 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「コードセット」(コードセットの設定)

PCL 6 エミュレーション時、初期フォントとしてプリンター内蔵のフォントが選択されている場合に、文字コードセットを選択できます。選択できる文字コードセットは、現在選択されているフォントにより変化します。初期値として IBM PC-8 が設定されています。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>コードセット」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。

>コードセット
 ? IBM PC-8
- 4 希望するコードセットが表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「印刷品質」(印刷品質の設定)

印刷時、光沢の強弱とエコプリント（トナー消費をおさえて印刷）の選択を設定します。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

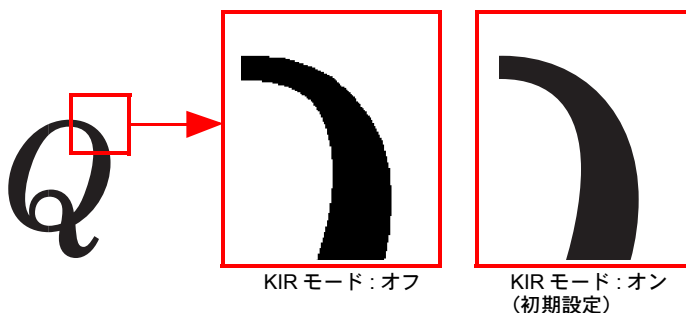
- 「KIR モード」(KIR モードの設定)
- 「エコプリント モード」(エコプリントモードの設定)
- 「解像度」(解像度の設定)
- 「印刷濃度」(印刷濃度の設定)

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>印刷品質 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「KIR モード」(KIR モードの設定)

本プリンターは京セラ独自のスムージング機能 KIR (Kyocera Image Refinement) を搭載しています。KIR はプリンターの解像度をソフト的に向上させることによって、高品質の印刷を実現します。



参考 : KIR はプリンターの印刷スピードには影響しません。

KIR モードは、次のように切り換えます。初期設定は「オン」です。

- 1 「>印刷品質 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>KIR モード」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」か「オフ」を選択してください。

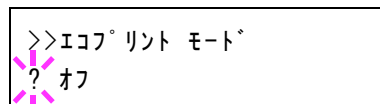
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「エコプリントモード」(エコプリントモードの設定)

エコプリントモードを「オン」にすると、トナー消費量をおさえて印刷することができます。印刷結果は標準解像度に比べ、画像がやや粗くなるため、試しプリントなど高品質な出力紙が必要でないときに使用してください。

エコプリントモードは、次のように切り換えます。初期設定は「オフ」です。

- 1 「>印刷品質>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>エコプリントモード」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

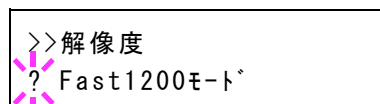


- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」か「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「解像度」(解像度の設定)

本プリンターは 300dpi、600dpi、Fine 1200 および Fast 1200 モードの 4 種類の解像度を設定できます。

- 1 「>印刷品質>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>解像度」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、「Fine1200モード」、「Fast1200モード」、「600 dpi」または「300 dpi」を選択します。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「印刷濃度」(印刷濃度の設定)

印刷濃度は 01 (薄い) ~ 05 (濃い) までの 5 段階の調整ができます。初期設定は「03」に設定されています。

- 1 「>印刷品質 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>印刷濃度」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>>印刷濃度
 ? 03
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「01 (薄い)」~「05 (濃い)」までの 5 段階から印刷濃度を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「印刷環境」(印刷環境の設定)

印刷枚数や印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

印刷環境の設定には以下の項目があります。

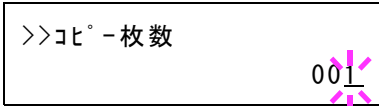
- 「コピー枚数」(印刷枚数の設定)
- 「印刷の向き」(印刷方向の選択)
- 「LF (改行) 動作」(改行動作の設定)
- 「CR (復帰) 動作」(復帰動作の設定)
- 「ワイド A4」(ワイド A4 の設定)
- 「XPS 印刷範囲設定」(XPS データ 印刷範囲の設定)
- 「TIFF/JPEG サイズ」(TIFF/JPEG データ印刷方法の設定)

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>印刷環境 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>印刷環境 >

「コピー枚数」(印刷枚数の設定)

現在選択しているインターフェイスから印刷する枚数を設定します。

- 1 「>印刷環境>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>コピー枚数」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、カーソル () が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。1～999まで設定できます。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。
- 5 希望の印刷枚数を表示させて、[実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

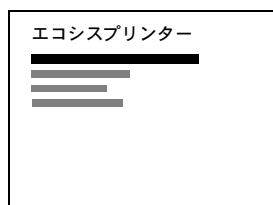
「印刷の向き」(印刷方向の選択)

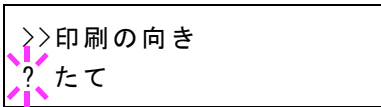
印刷方向を縦向き、または横向きのどちらかを選択します。

縦向き「たて」



横向き「よこ」

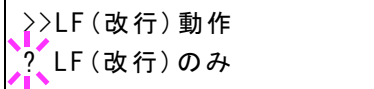


- 1 「>印刷環境>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>印刷の向き」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して「たて」または「よこ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「LF (改行) 動作」(改行動作の設定)

プリンターが改行コード (文字コード 0AH) を受信したときの動作を設定します。

- 1 「>印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> LF (改行) 動作」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

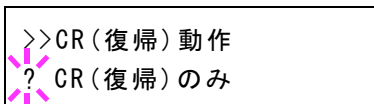


- 4 希望する改行動作が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
 LF (改行) のみ：改行を行います (初期設定)。
 CR (復帰)+LF (改行)：改行および復帰を行います。
 LF (改行) を無視する：改行を行いません。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「CR (復帰) 動作」(復帰動作の設定)

プリンターが復帰コード (文字コード 0DH) を受信したときの動作を設定します。

- 1 「>印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> CR (復帰) 動作」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

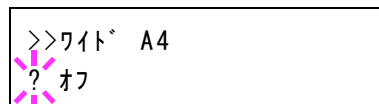


- 4 希望する復帰動作が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
 CR (復帰) のみ：復帰を行います (初期設定)。
 CR (復帰)+LF (改行)：復帰および改行を行います。
 CR (復帰) を無視する：復帰を行いません。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ワイド A4」 (ワイド A4 の設定)

この設定を「オン」にすると、A4 ページ 1 行に印刷できる文字数が 80 文字に増加します (10 cpi)。この設定は PCL 6 のエミュレーションでのみ有効になります。

- 1 「>印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>ワイド A4」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

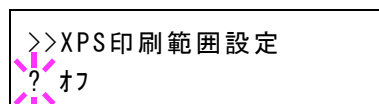


- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「XPS 印刷範囲設定」 (XPS データ 印刷範囲の設定)

この設定を「オン」にすると、XPS ドキュメントを、印刷領域に合わせたサイズに拡大または縮小して印刷します。

- 1 「>印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> XPS 印刷範囲設定」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

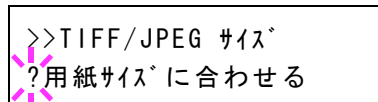


- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「TIFF/JPEG サイズ」(TIFF/JPEG データ印刷方法の設定)

TIFF/JPEG データを直接出力するときの出力方法を選択します。初期設定は、「用紙サイズに合わせる」です。

- 1 「>印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> TIFF/JPEG サイズ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



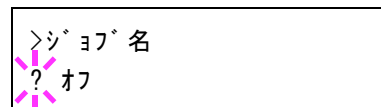
- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する印刷方法を表示させてください。表示される印刷方法は次のとおりです。
 - 「用紙サイズに合わせる」
画像サイズが用紙サイズ一杯になるように、拡大または縮小されて出力されます。
 - 「画像解像度」(画像解像度に合わせる)
画像データの解像度情報を参照して出力されます。解像度情報が無いときは、「用紙サイズに合わせる」選択時と同様に出力されます。
 - 「印刷解像度」(印刷解像度に合わせる)
画像データの 1 dot を印刷データの 1 dot として出力します。例えば 600 dot×300 dot の画像データは 25.4 mm×12.7 mm のサイズで出力されます。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

参考：出力される画像は、画像データと出力用紙の縦横比がより近くなる向きに、自動的に回転して出力されます。

「ジョブ名」(ジョブ名称表示設定)

プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>ジョブ名」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、使用するジョブ名を表示させてください。表示されるジョブ名は以下のとおりです。

オフ
ジョブ名(プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用します)
番号+ジョブ名
ジョブ名+番号

- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ネットワーク」(ネットワークの設定)

本機は、TCP/IP、TCP/IP (IPv6) プロトコルに対応しています。

IP とは、インターネットプロトコルを意味します。通常 IP は TCP/IP (IPv4) を使用し、次世代の IP である IPv6 (バージョン 6) と区別しています。

TCP/IP (IPv4) では、IP アドレスに 32 ビットが使用されていますが、インターネット・ユーザーの急速な拡大に伴って、IP アドレスが不足するようになりました。このため、IP アドレスに 128 ビットを使用し、広範囲に適応できる IPv6 が開発されました。

ネットワークの設定には以下の項目があります。

- 「TCP/IP」(TCP/IP (IPv4) の設定)
- 「TCP/IP (IPv6)」(TCP/IP (IPv6) の設定)
- 「プロトコル詳細」(ネットワークプロトコルの詳細設定)
- 「ネットワークの再起動」(ネットワークカードの再起動)

参考：設定するネットワークは、ネットワーク管理者に確認してください。

設定を有効にするために、ネットワークの設定をした後、ネットワークを必ず再起動してください。2-57 ページの「ネットワークの再起動」(ネットワークカードの再起動) を参照してください。

Command Center RX を使うと、ネットワーク設定やセキュリティー設定がパソコンから確認と変更ができるので便利です。詳しくは、Command Center RX 操作手順書を参照してください。

- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「ネットワーク >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

ネットワーク	>
--------	---

「TCP/IP」(TCP/IP (IPv4) の設定)

TCP/IP (IPv4) の各種設定を行います。

TCP/IP システムは、インターネット・システムを示し、インターフェイス層、リンク層、ネットワーク (IP) 層、トランスポート (TCP/UDP) 層、アプリケーション層の 5 つのレイヤ構成になっています。

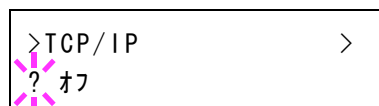
インターフェイス層は、TCP/IP システムの 1 つの特徴となっている層で、IP モジュール (IP 層) に対してリンク (通信回線：フレーム・リレーや Ethernet など) に依存しない、抽象化されたインターフェイスを提供します。このため、IP モジュールは、この抽象化された (リンク種別に依存しない) インターフェイスを用いて、IP パケットをリンク層に渡し、リンク層から受け取っています。

TCP/IP (IPv4) の設定には以下の項目があります。

- 「DHCP」 (DHCP の設定)
- 「Auto-IP」 (Auto IP の設定)
- 「IP アドレス」 (IP アドレスの設定)
- 「サブネットマスク」 (サブネットマスクの設定)
- 「デフォルトゲートウェイ」 (ゲートウェイの設定)
- 「Bonjour」 (Bonjour の設定)

注意：TCP/IP の DHCP、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、Bonjour のメニューは、TCP/IP オン時に表示されます。

- 1 「ネットワーク >」 表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「> TCP/IP >」 が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」 が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 「オン」を選択し、[実行] キーを押してください。以下の各種設定を行なってください。

「DHCP」 (DHCP の設定)

DHCP は、動的ホスト構成プロトコルで、ホストがネットワーク (インターネット) に接続しようとする際に、自ノードの IP アドレスやデフォルト・ルータ (自分が属するネットワーク・システム内にあるルータ) の IP アドレス、DNS (Domain Name System、ドメイン名解決システム) サーバーなどの、ネットワーク接続に必要な情報を与えるプロトコルです。DHCP は、BOOTP (Bootstrap Protocol、起動プロトコル。ブート・ピーと読む) を拡張しています。

- 1 「> TCP/IP オン >」 表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> DHCP」 が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」 が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

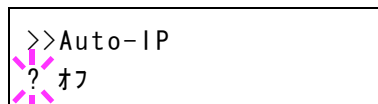
「Auto-IP」 (Auto IP の設定)

DHCP サーバーがない小規模なネットワークに接続されたとき、IP アドレスを自動的に割り振るためのプロトコルです。予約範囲 169.254.0.1 ~ 169.254.255.254 の中から任意のアドレスを1つ選択してネットワーク上で他の機器が使用していなければそのアドレスを使います。

- 1 「> TCP/IP オン >」または「> TCP/IP オフ >」表示中に、[D] キーを押してください。

- 2 「>> Auto-IP」が表示されるまで、[Δ] または [▽] キーを押してください。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [Δ] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

- 5 [実行] キーを押してください。

- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「IP アドレス」 (IP アドレスの設定)

IP アドレスとは、インターネットのデータ (IP パケット) を送受信するため、必要な IP パケットの中に含まれている、パソコンなどの住所のことを示します。(宛先アドレスと送信アドレスがある)。

具体的には、インターネットに接続されたパソコンを識別する「ホスト・アドレス (ホスト部とも言う)」と、そのパソコンが属しているネットワーク (具体的にはパソコンのネットワーク・インターフェイスを指す) を識別する「ネットワーク・アドレス (ネットワーク部)」の2つで構成され、ビット列となっています。インターネット・システム全体の中で唯一の (一意の) ビット列 (IP アドレス) が、それぞれのパソコンあるいはインターフェイスに割り当てられます。

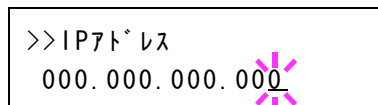
現在のインターネット (IPv4 : IP バージョン 4) で用いられている IP アドレスは、32 ビットの固定長となっています。

注意 : IP アドレスを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

- 1 「> TCP/IP オン >」表示中に、[D] キーを押してください。

- 2 「>> IP アドレス」が表示されるまで、[Δ] または [▽] キーを押してください。

- 3 [実行] キーを押すと、カーソル () が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。000 ~ 255 まで設定できます。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。
- 5 希望の IP アドレスを表示させて、[実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「サブネットマスク」(サブネットマスクの設定)

サブネットマスクは、IP アドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。


サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて 1 として表現し、ホスト・アドレス部をすべて 0 として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス (Prefix) とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IP アドレスの「先頭部分」を指します。

IP アドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、「133.201.2.0/24」のように“/” (スラッシュ) の後にプレフィックス長 (この場合は「24」) を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長 (つまりネットワーク部) が 24 ビットの「133.201.2.0」という IP アドレスということになります。

サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部 (本来のホスト・アドレス部の一部分) をサブネット・アドレスと呼びます。

注意: サブネットマスクを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

- 1 「> TCP/IP オン >」表示中に、[▶] キーを押してください。
- 2 「>>サブネットマスク」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、カーソル () が点滅します。

>>サブ ネットマスク
 000.000.000.000 
- 4 [△] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。000 ~ 255 まで設定できます。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。
- 5 希望のサブネットマスクを表示させて、[実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「デフォルトゲートウェイ」(ゲートウェイの設定)

ゲートウェイとは、一般的にプロトコル体系が異なるネットワーク間を相互接続するためのプロトコル変換器のことを示します。

例えば、異なる閉じたネットワーク（独自のプロトコル環境）と、オープンなインターネット（TCP/IP プロトコル環境）をつなぐ装置として「ゲートウェイ」が必要となります。

ゲートウェイを導入することによって、異なるネットワーク間で「通信プロトコル」や「データの表示方法」が相互に変換できるようになります。

TCP/IP ネットワークでは、ルータを指してゲートウェイ（デフォルト・ゲートウェイ）といいます。

注意：ゲートウェイを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

- 1 「> TCP/IP オン >」表示中に、[D] キーを押してください。
- 2 「>>デフォルトゲートウェイ」が表示されるまで、[Δ] または [▽] キーを押してください。
- 3 **[実行]** キーを押すと、カーソル () が点滅します。

>>デフォルトゲートウェイ
 000.000.000.000
- 4 [Δ] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。000～255 まで設定できます。[<] または [D] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。
- 5 希望のゲートウェイを表示させて、**[実行]** キーを押してください。
- 6 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「Bonjour」(Bonjour の設定)

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したり DNS サーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353 が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows XP Service Pack 2 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

- 1 「> TCP/IP オン >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> Bonjour」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>>Bonjour
 ? オフ
- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「TCP/IP (IPv6)」(TCP/IP (IPv6) の設定)

TCP/IP (IPv6) の各種設定を行います。

TCP/IP (IPv6) は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコル TCP/IP (IPv4) をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TCP/IP (IPv6) の設定には以下の項目があります。

- 「RA (Stateless)」(RA (Stateless) の設定)
- 「DHCPv6」(DHCPv6 の設定)

注意：TCP/IP (IPv6) の RA (Stateless)、DHCPv6 のメニューは、TCP/IP (IPv6) オン時に表示されます。

- 1 「ネットワーク >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「> TCP/IP (IPv6) >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

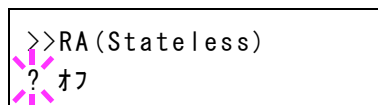
>TCP/IP (IPv6) >
 ? オフ
- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 「オン」を選択し、[実行] キーを押してください。以下の各種設定を行なってください。

「RA (Stateless)」 (RA (Stateless) の設定)

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報を ICMPv6 で知らせます。この情報が Router Advertisement (RA) です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージプロトコルのことで、RFC 2463 「Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」 で定義されている IPv6 標準です。

- 1 「> TCP/IP (IPv6) オン>」表示中に、[D] キーを押してください。
- 2 「>> RA (Stateless)」が表示されるまで、[Δ] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



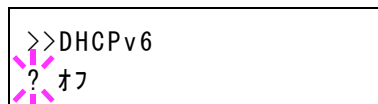
- 4 [Δ] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「DHCPv6」 (DHCPv6 の設定)

DHCPv6 は、次世代のインターネットプロトコルである IPv6 をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義している BOOTP の拡張します。

DHCPv6 を使うと、DHCP サーバーは拡張機能を使って IPv6 ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者が IP アドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6 ノードの管理が低減されます。

- 1 「> TCP/IP (IPv6) オン>」表示中に、[D] キーを押してください。
- 2 「>> DHCPv6」が表示されるまで、[Δ] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [Δ] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「プロトコル詳細」(ネットワークプロトコルの詳細設定)

プロトコルの詳細設定を行います。

- 「NetBEUI」(NetBEUI の設定)
- 「SNMPv3」(SNMPv3 の設定)
- 「FTP (Server)」(FTP (Server) の設定)
- 「SNMP」(SNMP の設定)
- 「SMTP」(SMTP の設定)
- 「POP3」(POP3 の設定)
- 「RAW Port」(RAW Port の設定)
- 「LPD」(LPD の設定)
- 「HTTP」(HTTP の設定)

- 1 「ネットワーク >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>プロトコル詳細 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

「NetBEUI」(NetBEUI の設定)

NetBEUI を使用して文書を受信するかどうかを設定します。

- 1 「>プロトコル詳細 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> NetBEUI」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>>NetBEUI
 ? オン
- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「SNMPv3」(SNMPv3 の設定)

SNMPv3 を設定します。

- 1 「>プロトコル詳細 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> SNMPv3」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

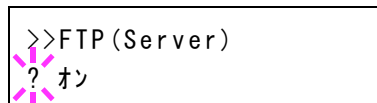
>>SNMPv3
 ? オフ

- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「FTP (Server)」 (FTP (Server) の設定)

FTP を使用して文書を受信するかどうかを設定します。

- 1 「>プロトコル詳細 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> FTP(Server)」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「SNMP」 (SNMP の設定)

SNMP を使用して通信を行うかどうかを設定します。

- 1 「>プロトコル詳細 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> SNMP」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「SMTP」(SMTP の設定)

SMTP を使用してメールを送信するかどうかを設定します。

- 1 「>プロトコル詳細 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>SMTP」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「POP3」(POP3 の設定)

POP3 を使用してメールを受信するかどうかを設定します。

- 1 「>プロトコル詳細 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>POP3」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

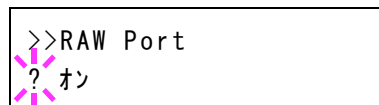


- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「RAW Port」(RAW Port の設定)

RAW Port を使用して通信を行うかどうかを設定します。

- 1 「>プロトコル詳細 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>RAW Port」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「LPD」(LPD の設定)

ネットワークプロトコルで使う、LPD を使用して文書を受信するかどうかを設定します。

- 1 「>プロトコル詳細 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> LPD」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「HTTP」(HTTP の設定)

HTTP を使用して通信を行うかどうかを設定します。

- 1 「>プロトコル詳細 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> HTTP」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ネットワークの再起動」(ネットワークカードの再起動)

設定を有効にするために、ネットワークの設定をした後、ネットワークを必ず再起動してください。

- 1 「ネットワーク >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>ネットワークの再起動」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が表示されます。

>ネットワークの再起動	?
-------------	---

- 4 もう一度、[実行] キーを押すと、「再起動します。お待ちください。」が表示され、ネットワークを再起動します。

「オプションネットワーク」(オプションネットワークの設定)

オプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50) またはワイヤレスインターフェイスキット (IB-51) の設定を行います。

参考：この設定は、ネットワークインターフェイスキット (IB-50) またはワイヤレスインターフェイスキット (IB-51) を装着している場合に表示します。

オプションネットワークの設定には以下の項目があります。

- 「ID」(管理者 ID の入力)
- 「パスワード」(管理者パスワードの入力)
- 「TCP/IP」(オプションネットワークの TCP/IP (IPv4) の設定)
- 「TCP/IP (IPv6)」(オプションネットワークの TCP/IP (IPv6) の設定)
- 「NetWare」(NetWare の設定)
- 「AppleTalk」(AppleTalk の設定)
- 「IPSec」(IPSec の設定)
- 「LAN インターフェイス」(LAN インターフェイス設定)
- 「MAC アドレスフィルター」(MAC アドレスフィルタリング設定)
- 「通信」(使用するネットワークインターフェイスの選択)
- 「ネットワークの再起動」(オプションネットワークカードの再起動)

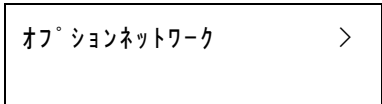
参考：設定するネットワークは、ネットワーク管理者に確認してください。

設定を有効にするために、ネットワークの設定をした後、ネットワークを必ず再起動してください。2-63 ページの「ネットワークの再起動」(オプションネットワークカードの再起動) を参照してください。

IB-50 または IB-51 の Web ページを使うと、ネットワーク設定やセキュリティー設定がパソコンから確認と変更ができるので便利です。詳しくは、IB-50 または IB-51 の**使用説明書**を参照してください。

ワイヤレスネットワークの設定については、IB-51 の**使用説明書**を参照してください。本機ではプリンターからの手動設定には対応していません。

- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「オプションネットワーク >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



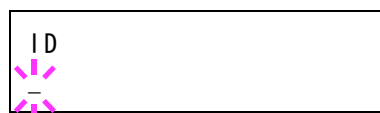
オプションネットワーク >

「ID」(管理者 ID の入力)

セキュリティー機能を設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、「**管理者**」(管理者の設定) を参照してください。

- 1 「オプションネットワーク >」表示中に、[▷] キーを押してください。

- 2 「ID」が表示され、カーソル () が点滅します。

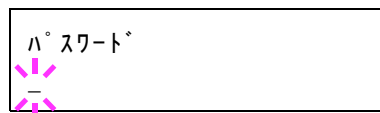


- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。[<] または [] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ～ 16 桁の数字で入力してください。
- 4 [実行] キーを押してください。次の手順「パスワード」(管理者パスワードの入力) へ移ります。

「パスワード」(管理者パスワードの入力)

セキュリティー機能を設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、「**管理者**」(管理者の設定) を参照してください。

- 1 前の手順「ID」(管理者 ID の入力) で正しい ID を入力すると、「パスワード」(管理者パスワードの入力) が表示され、カーソル () が点滅します。



- 2 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。[<] または [] キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 (設定なし) ～ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID が違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

- 3 [実行] キーを押してください。オプションネットワーク設定画面に移ります。

「TCP/IP」(オプションネットワークの TCP/IP (IPv4) の設定)

TCP/IP (IPv4) の各種設定を行います。設定方法は標準のネットワーク設定と同じです。詳しくは、2-46 ページの「TCP/IP」(TCP/IP (IPv4) の設定) を参照してください。

「TCP/IP (IPv6)」(オプションネットワークの TCP/IP (IPv6) の設定)

TCP/IP (IPv6) の各種設定を行います。設定方法は標準のネットワーク設定と同じです。詳しくは、2-51 ページの「TCP/IP (IPv6)」(TCP/IP (IPv6) の設定) を参照してください。

「NetWare」 (NetWare の設定)

NetWare (ネットウェア) は、パソコンで動作するサーバー専用のネットワーク・オペレーティング・システムです。

NetWare は、クライアント・サーバー型のシステムであり、サーバー機に NetWare OS を、クライアント機 (MS-DOS、OS/2、Windows など) に専用のクライアントモジュール (NetWare クライアント) を導入して運用します。ネットワーク層のプロトコルは、独自の IPX (Internetwork Packet eXchange)/SPX (Sequenced Packet eXchange) を用いるのが基本ですが、TCP/IP にも対応しています。

NetWare OS の特徴は、完全にサーバー用途に特化しており、Windows NT や UNIX などの汎用 OS とは異なります。サーバー機の NetWare OS のコンソールからはサーバーの運用に必要な最低限の操作しかできず、基本的にサーバーやファイルの管理はクライアント機から管理ツールを用いて行います。また、ドライバやプロトコルスタックなどがすべて NetWare Loadable Module (NLM) というモジュール形式になっており、NLM の動的なロード・アンロードが自在に行えることも大きな特徴です。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> NetWare」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>NetWare
 ? オン
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「AppleTalk」 (AppleTalk の設定)

AppleTalk (アップルトーク) は、主に Macintosh で使用されている通信プロトコル、または Mac OS のネットワーク機能を示します。

AppleTalk は 24 ビットのネットワークアドレス (16 ビットのネットワーク部と 8 ビットのノードアドレス) を実装し、ネットワーク上で各機器 (パソコンやプリンターなど) の識別に利用します。

電源を投入すると、ブロードキャスト信号をネットワーク上に流し、自動的にアドレスとマシン名を割り当てます。初期設定は「オン」です。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> AppleTalk」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>AppleTalk
 ? オン
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。


- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「IPSec」(IPSec の設定)

IPSec (IP Security Protocol) は、IETF で標準化された第3層のネットワーク層 (IP 層) での認証および暗号化を行うためのセキュリティープロトコルのことです。

IPv4 と IPv6 の双方に適用できます。

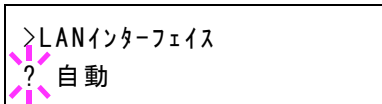
参考：IPv4 では IP アドレスに 32 ビットが使用され、IPv6 では 128 ビットが使用されます。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> IPSec」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「LAN インターフェイス」(LAN インターフェイス設定)

ネットワーク接続で使用するインターフェイスを選択します。

参考：「LAN インターフェイス」は、オプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50) を装着している場合に表示されます。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> LAN インターフェイス」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 3 [△] または [▽] キーを押して、希望の LAN インターフェイスを選択してください。表示される LAN インターフェイスは以下のとおりです。

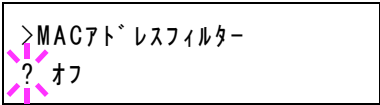
自動
10BASE-Half
10BASE-Full
100BASE-Half
100BASE-Full
1000BASE-T

- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「MAC アドレスフィルター」(MAC アドレスフィルタリング設定)

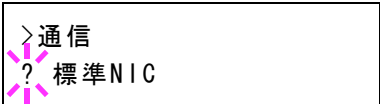
MAC アドレスフィルタリングの有効/無効を設定します。

参考：MAC アドレスフィルタリングの詳細設定は、オプションのネットワークインターフェイスキットのユーティリティソフトで行います。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> MAC アドレスフィルター」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「通信」(使用するネットワークインターフェイスの選択)

ネットワーク接続で使用するインターフェイスを選択します。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>通信」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 3 [△] または [▽] キーを押して、希望のネットワークインターフェイスカードを選択してください。

標準NIC(プリンター標準のネットワークインターフェイス)
オプションNIC(オプションのネットワークインターフェイスキット)

- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ネットワークの再起動」(オプションネットワークカードの再起動)

設定を有効にするために、ネットワークの設定をした後、ネットワークを必ず再起動してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>ネットワークの再起動」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 2 [実行] キーを押すと、「?」が表示されます。

>ネットワークの再起動	?
-------------	---

- 3 もう一度、[実行] キーを押すと、「再起動します。お待ちください。」が表示され、ネットワークを再起動します。

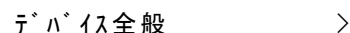
「デバイス全般」(デバイス全般の選択・設定)

本機の機能全般を選択・設定します。

デバイス全般の選択・設定には以下の項目があります。

- 「表示言語」(表示言語の選択)
- 「日時設定」(日付と時刻の設定)
- 「ブザー」(ブザーの設定)
- 「RAM ディスクモード」(RAM ディスクの操作)
- 「エラー処理」(エラー検知の設定)
- 「時間」(時間の設定)
- 「スリープレベル設定」(スリープレベルの設定)
- 「トナー少の通知レベル」(トナー補給のアラートレベルの設定)

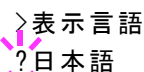
- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「デバイス全般 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「表示言語」(表示言語の選択)

メッセージディスプレイに表示するメッセージの言語を、日本語または英語に設定できます。

- 1 「デバイス全般 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>表示言語」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 表示言語を変えるときは、[実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、言語を変更してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「日時設定」(日付と時刻の設定)

日付と時刻を設定します。

日付と時刻の設定には以下の項目があります。

- 「ID」(管理者 ID の入力)
- 「パスワード」(管理者パスワードの入力)
- 「日時(年/月/日)」(日付の設定)
- 「時刻(時/分/秒)」(時刻の設定)
- 「日付形式」(日付表示形式の選択)
- 「時差」(時差の設定)
- 「サマータイム」(サマータイムの設定)

1 「デバイス全般 >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>日時設定 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「ID」(管理者 ID の入力)

日付と時刻を設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、「管理者」(管理者の設定)を参照してください。

1 「>日時設定 >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「ID」が表示され、カーソル () が点滅します。



3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ~ 16 桁の数字で入力してください。

4 [実行] キーを押してください。次の手順「パスワード」(管理者パスワードの入力)へ移ります。

「パスワード」(管理者パスワードの入力)

日付と時刻を設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、「管理者」(管理者の設定)を参照してください。

1 前の手順「ID」(管理者 ID の入力)で正しい ID を入力すると、「パスワード」(管理者パスワードの入力)が表示され、カーソル () が点滅します。



- 2 【△】または【▽】キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。【<】または【>】キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは0（設定なし）～16桁の数字で入力してください。

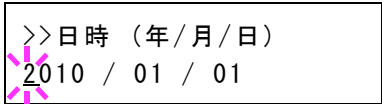
参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID が違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

- 3 【実行】キーを押してください。日時設定画面に移ります。

「日時 (年 / 月 / 日)」 (日付の設定)

- 4 管理者 ID とパスワード入力後、「>>日時 (年 / 月 / 日)」が表示されるまで、【△】または【▽】キーを押してください。

- 5 【実行】キーを押すと、カーソル () が点滅します



>>日時 (年 / 月 / 日)
2010 / 01 / 01

- 6 矢印キーを使って、「年」、「月」、「日」を設定してください。

【△】または【▽】キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。【<】または【>】キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

参考：「年」、「月」、「日」の表示される順番は、2-67 ページの「日付形式」(日付表示形式の選択)によって変わります。

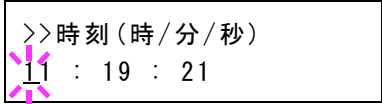
- 7 【実行】キーを押してください。

- 8 【メニュー】キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「時刻 (時 / 分 / 秒)」 (時刻の設定)

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>時刻 (時 / 分 / 秒)」が表示されるまで、【△】または【▽】キーを押してください。

- 2 【実行】キーを押すと、カーソル () が点滅します。



>>時刻 (時 / 分 / 秒)
11 : 19 : 21

- 3 矢印キーを使って、「時」、「分」、「秒」を設定してください。

【△】または【▽】キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。【<】または【>】キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

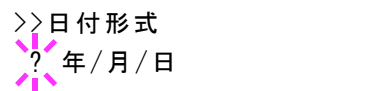
- 4 【実行】キーを押してください。

- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「日付形式」(日付表示形式の選択)

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>日付形式」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、希望する日付形式を表示させてください。
次の日付形式が選択できます。

- (月/日/年)
- (日/月/年)
- (年/月/日)

- 4 [実行] キーを押してください。

- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「時差」(時差の設定)

ご使用の地域での、GMT (世界標準時) からの時差を設定してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>時差」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、地域を選択してください。

- 4 [実行] キーを押してください。

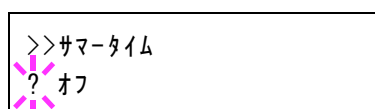
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「サマータイム」(サマータイムの設定)

サマータイムを設定します。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>サマータイム」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 2 【実行】 キーを押してください。「?」が点滅します。



- 3 【△】 または 【▽】 キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

- 4 【実行】 キーを押してください。

- 5 【メニュー】 キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ブザー」(ブザーの設定)

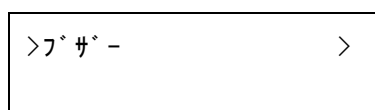
プリンターの状況や操作をブザーを鳴らして知らせる機能です。プリンターが離れた場所にある場合などに便利です。

ブザーの設定には以下の項目があります。

- 「キー操作」(操作確認音の設定)
- 「印刷完了」(印刷完了音の設定)
- 「準備完了」(準備完了音の設定)
- 「警告」(警告音の設定)

- 1 「デバイス全般 >」表示中に、【▷】 キーを押してください。

- 2 「>ブザー >」が表示されるまで、【△】 または 【▽】 キーを押してください。



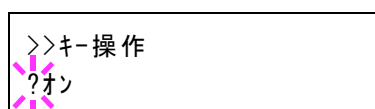
「キー操作」(操作確認音の設定)

この設定を「オン」にすると、キーの操作時に音が鳴ります。初期設定は「オン」です。

- 1 「>ブザー >」表示中に、【▷】 キーを押してください。

- 2 「>>キー操作」が表示されるまで、【△】 または 【▽】 キーを押してください。

- 3 【実行】 キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 【△】 または 【▽】 キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

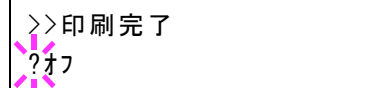
- 5 【実行】 キーを押してください。

- 6 【メニュー】 キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「印刷完了」(印刷完了音の設定)

この設定を「オン」にすると、印刷の完了時に音が鳴ります。初期設定は「オフ」です。

- 1 「>ブザー>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>印刷完了」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

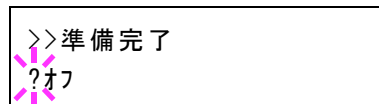


- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「準備完了」(準備完了音の設定)

この設定を「オン」にすると、印刷準備が整ったとき音が鳴ります。初期設定は「オフ」です。

- 1 「>ブザー>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>準備完了」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



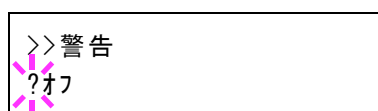
- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「警告」(警告音の設定)

この設定を「オン」にすると、印刷中に起きる用紙切れや紙づまりなど不具合時に音が鳴ります。初期設定は「オフ」です。

- 1 「>ブザー>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>警告」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

- 5 [実行] キーを押してください。

- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「RAM ディスクモード」(RAM ディスクの操作)

本機は RAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクはプリンターの総メモリーの中から、任意のメモリーサイズを RAM ディスクとして設定できます。この機能により電子ソートが可能になり、トータルの印刷時間を短縮できます。RAM ディスクは初期設定では「オン」に設定されています。

RAM ディスクを有効にした場合、最大設定値は標準で 16 MB、オプションメモリーを装着した時はその装着したオプションメモリーの 1/2 の値になります。

RAM ディスク機能を使用する前に、次のセクションで説明する方法で RAM ディスクを「オン」に設定し、RAM ディスクのデータサイズを設定後、再起動してください。

参考：RAM ディスクは、プリンターのメモリーの一部を RAM ディスクに割り当てて使用します。

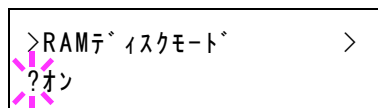
注意：RAM ディスクは一時的にデータを保存する機能です。プリンターを再起動したり電源を切った場合は消去されます。

RAM ディスクはプリンターのユーザー使用可能メモリーの中に割り当てられます。したがって、RAM ディスクの設定値によっては、印刷速度が落ちたり、メモリー不足のために正常に印刷されない場合があります。

- 1 「デバイス全般 >」表示中に、[▷] キーを押してください。

- 2 「>RAM ディスクモード >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択してください。

- 5 [実行] キーを押してください。

- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「RAM ディスクサイズ」(RAM ディスクのデータサイズ設定)

RAM ディスクに使用するメモリー量を設定します。

注意：RAM ディスクサイズメニューは、RAM ディスクモード オン時に表示されます。

- 1 「> RAM ディスクモード オン >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押してください。カーソル () が点滅します。[△] または [▽] キーで RAM ディスクのサイズを変更してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

>>RAMディスクサイズ
 016 MByte

設定できる範囲はプリンターの総メモリーによって変わります。
希望の RAM ディスクサイズを表示させて、[実行] キーを押してください。
- 3 [メニュー] キーを押してください。この後プリンターの電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

「エラー処理」(エラー検知の設定)

両面印刷時のエラーや給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラーの検知方法を設定できます。

エラー検知の設定には以下の項目があります。

- 「両面印刷処理」(両面印刷時のエラー検知設定)
- 「用紙 mismatch エラー」(給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定)
- 「手差し紙なし表示」(手差しトレイに用紙が無い場合の表示設定)

- 1 「デバイス全般 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>エラー処理 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>エラー処理 >

「両面印刷処理」(両面印刷時のエラー検知設定)

両面印刷を行う時、両面印刷できないラベルなどの用紙種類を指定した場合に、「両面印刷できません 解除を押してください」のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

- | | |
|----|---|
| オン | <ul style="list-style-type: none"> • [印刷可/解除] キーを押すと、片面印刷を行います。 • [キャンセル] キーを押すと、印刷そのものをキャンセルします。 |
| オフ | 片面印刷を行います。 |

- 1 「>エラー処理 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>両面印刷処理」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 3 【実行】 キーを押してください。「?」が点滅します。

>>両面印刷処理
?オン

- 4 【△】 または 【▽】 キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

- 5 【実行】 キーを押してください。

- 6 【メニュー】 キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「用紙ミスマッチエラー」(給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定)

給紙元を固定して印刷するときに、用紙サイズまたは種類が異なる場合、そのまま給紙する(オフ)、もしくは給紙エラーを表示する(オン)を選択できます。

- 1 「>エラー処理>」表示中に、【▷】キーを押してください。

- 2 「>>用紙ミスマッチエラー」が表示されるまで、【△】 または 【▽】 キーを押してください。

- 3 【実行】 キーを押してください。「?」が点滅します。

>>用紙ミスマッチエラー
?オン

- 4 【△】 または 【▽】 キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

- 5 【実行】 キーを押してください。

- 6 【メニュー】 キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「手差し紙なし表示」(手差しトレイに用紙が無い場合の表示設定)

給紙元を手差しトレイに固定して印刷するときに、手差しトレイに用紙が無い場合、用紙なしメッセージを表示する(オン)、もしくは表示しない(オフ)を選択できます。

「オン」にすると、手差しトレイに用紙が無い場合、常に用紙なしメッセージが表示されます。

- 1 「>エラー処理>」表示中に、【▷】キーを押してください。

- 2 「>>手差し紙なし表示」が表示されるまで、【△】 または 【▽】 キーを押してください。

- 3 【実行】 キーを押してください。「?」が点滅します。

>>手差し紙なし表示
?オン

- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「時間」(時間の設定)

改ページの待ち時間やスリープに移行する時間など、時間に関する設定を行います。

時間の設定には以下の項目があります。

- 「ID」(管理者 ID の入力)
- 「パスワード」(管理者パスワードの入力)
- 「オートパネルリセット」(オートパネルリセットの設定)
- 「パネルリセット時間」(パネルリセット時間の設定)
- 「低電力モード時間」(低電力モード時間の設定)
- 「スリープ時間」(スリープ(待機)時間の設定)
- 「オートエラークリア」(オートエラークリアの設定)
- 「エラークリア時間」(オートエラークリアの復帰時間の設定)
- 「改ページ待ち時間」(自動改ページ待ち時間(タイムアウト)の設定)

1 「デバイス全般 >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>時間 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

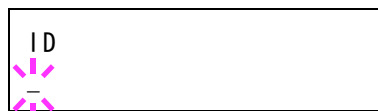


「ID」(管理者 ID の入力)

時間を設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、「管理者」(管理者の設定)を参照してください。

1 「>時間 >」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「ID」が表示され、カーソル()が点滅します。



3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ~ 16 桁の数字で入力してください。

4 [実行] キーを押してください。次の手順「パスワード」(管理者パスワードの入力)へ移ります。

「パスワード」(管理者パスワードの入力)

時間を設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、「管理者」(管理者の設定)を参照してください。

1 前の手順「ID」(管理者 ID の入力)で正しい ID を入力すると、「パスワード」(管理者パスワードの入力)が表示され、カーソル()が点滅します。



- 2 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。[<] または [D] キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0（設定なし）～ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID が違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

- 3 [実行] キーを押してください。時間設定画面に移ります。

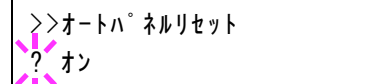
「オートパネルリセット」(オートパネルリセットの設定)

オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。初期設定は「オン」(解除する)です。

リセットするまでの時間は、次のパネルリセット時間の設定で行ってください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>オートパネルリセット」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

- 4 [実行] キーを押してください。

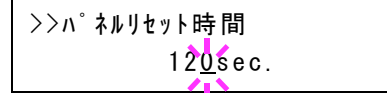
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「パネルリセット時間」(パネルリセット時間の設定)

オートパネルリセットを「オン」に設定した場合、操作終了後、オートリセットされるまでの時間を設定できます。初期設定では 120 秒です。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>パネルリセット時間」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 2 [実行] キーを押してください。カーソル () が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の時間を設定してください。設定時間は 5 秒単位で 005 ～ 495 秒の間で設定できます。[<] または [D] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

- 4 [実行] キーを押してください。

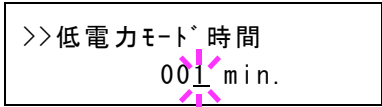
- 5 【メニュー】キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「低電力モード時間」(低電力モード時間の設定)

プリンターが低電力モードに入るまでの時間を設定します。印刷データを受信したり、操作パネルの【印刷可/解除】キーを押すと、プリンターは低電力モードより復帰します。初期設定では1分です。

- 1 管理者IDとパスワード入力後、「>>低電力モード時間」が表示されるまで、【△】または【▽】キーを押してください。

- 2 【実行】キーを押すと、カーソル()が点滅します。



>>低電力モード時間
001 min.

- 3 【△】または【▽】キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。希望の時間を設定してください。待ち時間は1～240分の間で設定できます。【<】または【>】キーを押すとカーソルが左右に移動します。

- 4 【実行】キーを押してください。

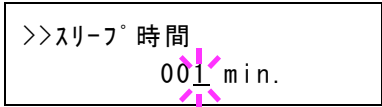
- 5 【メニュー】キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「スリープ時間」(スリープ(待機)時間の設定)

プリンターがスリープモードに入るまでの時間を設定します。印刷データを受信したり、操作パネルの【印刷可/解除】キーを押すと、プリンターはスリープモードより復帰します。初期設定では1分です。

- 1 管理者IDとパスワード入力後、「>>スリープ時間」が表示されるまで、【△】または【▽】キーを押してください。

- 2 【実行】キーを押すと、カーソル()が点滅します。



>>スリープ時間
001 min.

- 3 【△】または【▽】キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。希望の時間を設定してください。待ち時間は1～240分の間で設定できます。【<】または【>】キーを押すとカーソルが左右に移動します。

- 4 【実行】キーを押してください。

- 5 【メニュー】キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「オートエラークリア」（オートエラークリアの設定）

継続印刷の可能なエラーが発生した場合、一定時間が経過した後に次に受信しているデータを自動的に継続印刷します。たとえばプリンターを共有している場合、前に印刷していた人がそれらのエラーを発生させても、一定時間後には他の人の印刷を継続して印刷できます。初期設定は「オフ」（自動継続印刷しない）です。

継続印刷可能なエラー：

- 「メモリーオーバーフロー 解除を押してください」
- 「KPDLError 解除を押してください」
- 「RAM ディスクエラー 解除を押してください」
- 「両面印刷できません 解除を押してください」
- 「ジョブを保存できません 解除を押してください」
- 「複数印刷できません 解除を押してください」
- 「USB メモリーエラー 解除を押してください」

継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの時間は、次のエラークリアの復帰時間の設定で行ってください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>オートエラークリア」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。

>>オートエラークリア
 ?オフ
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「エラークリア時間」（オートエラークリアの復帰時間の設定）

オートエラークリアを「オン」に設定した場合、継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの復帰時間を設定します。

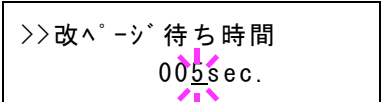
- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>エラークリア時間」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押してください。カーソル () が点滅します。

>>エラークリア時間
 030sec.
- 3 [△] または [▽] キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の時間を設定してください。設定時間は 5 秒単位で 005 ～ 495 秒の間で設定できます。[<] または [>] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「改ページ待ち時間」（自動改ページ待ち時間（タイムアウト）の設定）

プリンターはパソコンからの印刷データを受け取る際に、パソコンからのデータ送信が終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページして残りのデータを印刷します。初期設定では5秒です。

- 1 管理者IDとパスワード入力後、「>>改ページ待ち時間」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押すと、カーソル () が点滅します。
- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。希望の時間を設定してください。待ち時間は5秒単位で5～495秒の間で設定できます。[<] または [>] キーを押すとカーソルが左右に移動します。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「スリープレベル設定」（スリープレベルの設定）

スリープモードのレベルを設定します。

スリープレベルの設定には以下の項目があります。

- 「ID」（管理者IDの入力）
- 「パスワード」（管理者パスワードの入力）
- 「スリープレベル」（スリープモードのレベルの設定）
- 「ネットワーク接続時」（ネットワーク接続時の節電モード移行設定）
- 「USBケーブル接続時」（USB接続時の節電モード移行設定）
- 「RAMディスク使用時」（RAMディスク使用時の節電モード移行設定）

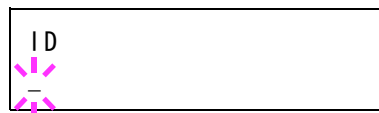
参考：「ネットワーク接続時」、「USBケーブル接続時」、「RAMディスク使用時」は「スリープレベル」の設定が「節電優先」のときに表示されます。

- 1 「デバイス全般 >」表示中に、[>] キーを押してください。
- 2 「>スリープレベル設定 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

「ID」(管理者 ID の入力)

スリープレベルを設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、「**管理者**」(管理者の設定)を参照してください。

- 1 「>時間 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「ID」が表示され、カーソル () が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ~ 16 桁の数字で入力してください。
- 4 [実行] キーを押してください。次の手順「パスワード」(管理者パスワードの入力)へ移ります。

「パスワード」(管理者パスワードの入力)

スリープレベルを設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、「**管理者**」(管理者の設定)を参照してください。

- 1 前の手順「ID」(管理者 ID の入力)で正しい ID を入力すると、「パスワード」(管理者パスワードの入力)が表示され、カーソル () が点滅します。



- 2 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 (設定なし) ~ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID が違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

- 3 [実行] キーを押してください。スリープレベル設定画面に移ります。

「スリープレベル」(スリープモードのレベルの設定)

スリープモードには、「復帰優先」と「節電優先」の2つのスリープレベルがあります。

復帰優先モード：節電優先モードよりもスリープモードからの復帰が早いです。

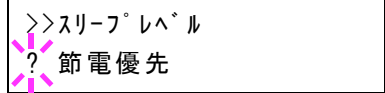
節電優先モード：復帰優先モードよりも消費電力を抑えることができます。節電優先モードでは、各機能ごとに節電優先モードを有効にするか設定することができます。

参考：復帰優先モードと節電優先モードについては、**使用説明書**を参照してください。

「スリープレベル設定」は、オプションのネットワークインターフェイスキット（IB-50）またはワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）を装着している場合、表示されません。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>スリープレベル」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 2 **[実行]** キーを押してください。「?」が点滅します。



>>スリープレベル
? 節電優先

- 3 [△] または [▽] キーを押して、「復帰優先」または「節電優先」を選択してください。

- 4 **[実行]** キーを押してください。

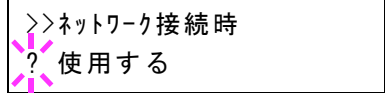
- 5 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ネットワーク接続時」（ネットワーク接続時の節電モード移行設定）

ネットワーク接続時に、節電優先モードへ移行するかどうかを設定します。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>ネットワーク」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 2 **[実行]** キーを押してください。「?」が点滅します。



>>ネットワーク接続時
? 使用する

- 3 [△] または [▽] キーを押して、「使用する」または「使用しない」を選択してください。

- 4 **[実行]** キーを押してください。

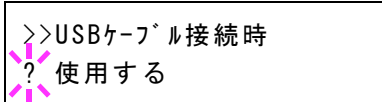
- 5 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「USB ケーブル接続時」（USB 接続時の節電モード移行設定）

USB 接続時に、節電優先モードへ移行するかどうかを設定します。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>USB ケーブル接続時」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



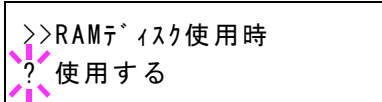
>>USBケーブル接続時
? 使用する

- 3 [△] または [▽] キーを押して、「使用する」または「使用しない」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「RAM ディスク使用時」(RAM ディスク使用時の節電モード移行設定)

RAM ディスク使用時に、節電優先モードへ移行するかどうかを設定します。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>> RAM ディスク使用時」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



>>RAMディスク使用時
? 使用する

- 3 [△] または [▽] キーを押して、「使用する」または「使用しない」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「トナー少の通知レベル」(トナー補給のアラートレベルの設定)

ステータスマニターに表示されるトナー補給のアラートレベルを設定します。

トナー補給のアラートレベルの設定には以下の項目があります。

- 「ID」(管理者 ID の入力)
- 「パスワード」(管理者パスワードの入力)
- 「Off/On」(トナー補給の通知の設定)
- 「トナー少の通知レベル」(トナー補給のアラートレベルの設定)

- 1 「デバイス全般 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>トナー少の通知レベル >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

「ID」(管理者 ID の入力)

トナー補給のアラートレベルを設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、「管理者」(管理者の設定)を参照してください。

- 1 「>トナー小の通知レベル>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「ID」が表示され、カーソル () が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ~ 16 桁の数字で入力してください。
- 4 [実行] キーを押してください。次の手順「パスワード」(管理者パスワードの入力)へ移ります。

「パスワード」(管理者パスワードの入力)

トナー補給のアラートレベルを設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、「管理者」(管理者の設定)を参照してください。

- 1 前の手順「ID」(管理者 ID の入力)で正しい ID を入力すると、「パスワード」(管理者パスワードの入力)が表示され、カーソル () が点滅します。



- 2 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 (設定なし) ~ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID が違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

- 3 [実行] キーを押してください。トナー補給のアラートレベル設定画面に移ります。

「Off/On」(トナー補給の通知の設定)

トナー補給の通知を行うかどうかを設定します。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>> Off/On」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「トナー少の通知レベル」（トナー補給のアラートレベルの設定）

トナー補給のアラートを表示するレベルを設定します。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>>トナー少の通知レベル」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 2 [実行] キーを押すと、カーソル () が点滅します。

>>トナー少の通知レベル
005 %
- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。[<] または [D] キーを押すとカーソルが左右に移動します。トナー残量 5 ~ 100% で設定できます。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「セキュリティー」(セキュリティー機能の設定)

本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティー機能の設定ができます。
セキュリティー機能の設定には以下の項目があります。

- 「ID」(管理者 ID の入力)
- 「パスワード」(管理者パスワードの入力)
- 「インターフェイスブロック」(インターフェイス (外部機器) ブロックの設定)
- 「WSD-PRINT」(WSD プリントの設定)
- 「Enhanced WSD」(Enhanced WSD の設定)
- 「EnhancedWSD(SSL)」(EnhancedWSD(SSL) の設定)
- 「IPP」(IPP の設定)
- 「SSL サーバー」(SSL サーバーの設定)
- 「IPSec」(IPSec の設定)
- 「LAN インターフェイス」(LAN インターフェイス設定)
- 「セキュリティーレベル」(セキュリティーレベルの設定)

参考：Command Center RX を使用すると、パソコンからネットワーク設定やセキュリティー設定の変更または確認ができ便利です。詳しくは、**Command Center RX 操作手順書**を参照してください。

- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「セキュリティー >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「ID」(管理者 ID の入力)

セキュリティー機能を設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、「**管理者**」(管理者の設定)を参照してください。

- 1 「セキュリティー >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「ID」が表示され、カーソル () が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ~ 16 桁の数字で入力してください。
- 4 [実行] キーを押してください。次の手順「パスワード」(管理者パスワードの入力)へ移ります。

「パスワード」(管理者パスワードの入力)

セキュリティー機能を設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、「**管理者**」(管理者の設定)を参照してください。

- 1 前の手順「ID」(管理者 ID の入力)で正しい ID を入力すると、「パスワード」(管理者パスワードの入力)が表示され、カーソル () が点滅します。



- 2 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。[<] または [D] キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 (設定なし) ~ 16 桁の数字で入力してください。

参考 : ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID が違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

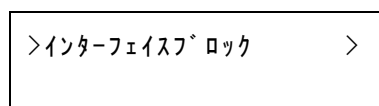
- 3 [実行] キーを押してください。セキュリティー機能設定画面に移ります。

「インターフェイスブロック」(インターフェイス (外部機器) ブロックの設定)

インターフェイスをブロックして、データ通信を行わないように設定できます。インターフェイスブロックの設定には以下の項目があります。

- 「USB ホスト」(USB メモリースロットの設定)
- 「USB デバイス」(USB インターフェイスの設定)
- 「オプションインターフェイス」(ネットワーク インターフェイス (NIC : Network Interface Card) の設定)
- 「USB ストレージ」(USB メモリーの設定)

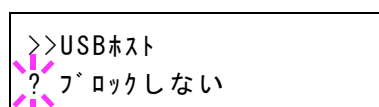
- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>インターフェイスブロック >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「USB ホスト」(USB メモリースロットの設定)

USB メモリースロット (USB ホスト) をブロックして保護します。初期設定は「ブロックしない」です。

- 1 「>インターフェイスブロック >」表示中に、[D] キーを押してください。
- 2 「>>USB ホスト」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。

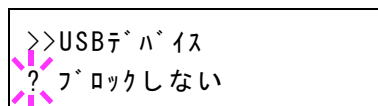


- 4 [△] または [▽] キーを押して、「ブロックする」または「ブロックしない」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「USB デバイス」(USB インターフェイスの設定)

USB インターフェイスをブロックして保護します。初期設定は「ブロックしない」です。

- 1 「>インターフェイスブロック>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>USB デバイス」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



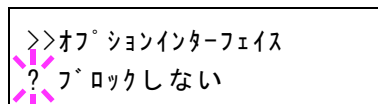
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「ブロックする」または「ブロックしない」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「オプションインターフェイス」(ネットワーク インターフェイス (NIC : Network Interface Card) の設定)

ネットワーク インターフェイス (NIC) をブロックして保護します。初期設定は「ブロックしない」です。

注意 : 「オプションインターフェイス」は、ネットワークインターフェイスが装着されている場合のみ表示されます。

- 1 「>インターフェイスブロック>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>オプションインターフェイス」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、「ブロックする」または「ブロックしない」を選択してください。

- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「USB ストレージ」(USB メモリーの設定)

USB ストレージ (USB メモリー) をブロックして保護します。USB メモリーを本機に挿入しても認識しないようにします。初期設定は「ブロックしない」です。

- 1 「>インターフェイスブロック>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>USB ストレージ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。

>>USBストレージ
 ? ブロックしない
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「ブロックする」または「ブロックしない」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「WSD-PRINT」(WSD プリントの設定)

WSD プリントを使用するかどうかを選択します。初期設定は「オン」です。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> WSD-PRINT」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>WSD-PRINT
 オン
- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。

>WSD-PRINT
 ? オン
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「Enhanced WSD」 (Enhanced WSD の設定)

弊社が独自に提供する Web サービスを使用するかどうかを設定します。ネットワークドライバはこの Enhanced WSD の Web サービスを利用します。初期設定は「オン」です。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> Enhanced WSD」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>Enhanced WSD
オン
- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。

>Enhanced WSD
? オン
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「EnhancedWSD(SSL)」 (EnhancedWSD(SSL) の設定)

弊社が独自に提供する Web サービスを SSL 上で使用するかどうかを設定します。2-89 ページの「SSL サーバー」 (SSL サーバーの設定) で SSL を「オン」に設定する必要があります。初期設定は「オン」です。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> EnhancedWSD(SSL)」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>EnhancedWSD (SSL)
オン
- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。

>EnhancedWSD (SSL)
? オン
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「IPP」 (IPP の設定)

IPP (Internet Printing Protocol、インターネットプリンティングプロトコル) は、インターネット網に代表される TCP/IP ネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコンの間で印刷データなどのやりとりを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われる HTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTP の認証機構や、SSL によるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

初期設定は「オン」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> IPP」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>IPP
 オフ
- 2 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。

>IPP
 ?オフ
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 4 [実行] キーを押してください。
- 5 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「SSL サーバー」 (SSL サーバーの設定)

SSL (Secure Sockets Layer) はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するプロトコルを示します。現在、インターネットで広く使われている WWW や FTP などのデータを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができます。

SSL サーバーは、このプロトコルを使用し、サーバーおよびクライアントの認証を行います。

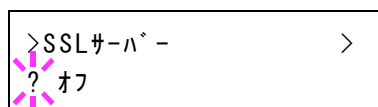
初期設定は「オン」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> SSL サーバー >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>SSLサーバー >
 オフ

- 2 【実行】 キーを押してください。「?」が点滅します。



- 3 【△】 または 【▽】 キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

- 4 【実行】 キーを押してください。

- 5 【メニュー】 キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「DES」（SSL サーバーの DES 設定）

DES（Data Encryption Standard）は、代表的な共通鍵暗号アルゴリズムで、データを 64 ビット長のブロックに分割し、各ブロックを 56 ビット長の鍵で暗号化する共通鍵暗号方式を使用しています。

参考：共通鍵暗号方式では、暗号鍵と復号鍵が共通なため、暗号情報をやり取りする双方で鍵を共有する。したがって鍵の漏えいを防ぐために、鍵の受け渡しや保管などにおいて厳重な管理が必要となります。

初期設定は「オフ」です。

- 1 「> SSL サーバー オン>」表示中に、[▷] キーを押してください。

- 2 「>> DES」が表示されるまで、【△】 または 【▽】 キーを押してください。

- 3 【実行】 キーを押してください。「?」が点滅します。



- 4 【△】 または 【▽】 キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

- 5 【実行】 キーを押してください。

- 6 【メニュー】 キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「3DES」（SSL サーバーの 3DES 設定）

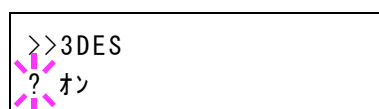
3DES（Triple Data Encryption Standard）は、DES を 3 重に繰り返すことで、暗号強度を高めています。

初期設定は「オン」です。

- 1 「> SSL サーバー オン>」表示中に、[▷] キーを押してください。

- 2 「>> 3DES」が表示されるまで、【△】 または 【▽】 キーを押してください

- 3 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「AES」(SSL サーバーの AES 設定)

AES (Advanced Encryption Standard) は、DES の安全性が低下してきたことを背景に、DES に代わる標準暗号として開発されました。AES は、SPN 構造 (繰返し暗号の代表的な構成法) を採用したブロック長 128 ビットのブロック暗号で、鍵長は 128 ビット、192 ビット、256 ビットの 3 つを選択できます。

初期設定は「オン」です。

- 1 「> SSL サーバー オン>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> AES」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



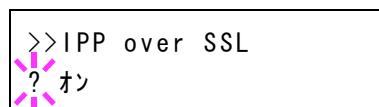
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「IPP over SSL」(SSL サーバーの IPP over SSL 設定)

IPP over SSL は、ネットワークにおける印刷で、ユーザーとサーバー間の通信を SSL を使って暗号化する機能のことです。IPP over SSL を利用するには、サーバーとクライアントがともに対応している必要があります。

初期設定は「オン」です。

- 1 「> SSL サーバー オン>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> IPP over SSL」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「HTTPS」(SSL サーバーの HTTPS 設定)

HTTPS (HyperText Transfer Protocol Secure) は、WWW サーバとクライアントの間でデータ転送を行う HTTP に SSL によるデータの暗号化、メッセージ認証、デジタル署名の機能を付加したプロトコルのことです。

同様のプロトコルに S-HTTP がありますが、HTTPS は、SSL を利用しているという点が異なります。

初期設定は「オン」です。

- 1 「> SSL サーバー オン>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>> HTTPS」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
- 5 [実行] キーを押してください。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「IPSec」(IPSec の設定)

IPSec (IP Security Protocol) は、IETF で標準化された第3層のネットワーク層 (IP 層) での認証および暗号化を行うためのセキュリティープロトコルのことです。

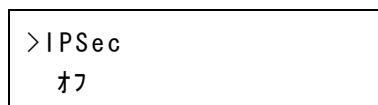
IPv4 と IPv6 の双方に適用ができます。

参考：IPv4 では、IP アドレスに 32 ビットが使用され、IPv6 では、128 ビットが使用されます。

初期設定は「オフ」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> IPSec」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



- 2 【実行】 キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>IPSec
? オフ
```

- 3 【△】 または 【▽】 キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

- 4 【実行】 キーを押してください。

- 5 【メニュー】 キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「LAN インターフェイス」(LAN インターフェイス設定)

ネットワーク接続で使用するインターフェイスを選択します。初期設定は「自動」です。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> LAN インターフェイス」が表示されるまで、【△】 または 【▽】 キーを押してください。

```
>LANインターフェイス
  自動
```

- 2 【実行】 キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>LANインターフェイス
? 自動
```

- 3 【△】 または 【▽】 キーを押して、希望の LAN インターフェイスを選択してください。表示される LAN インターフェイスは以下のとおりです。

```
自動
10BASE-Half
10BASE-Full
100BASE-Half
100BASE-Full
1000BASE-T
```

- 4 【実行】 キーを押してください。

- 5 【メニュー】 キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「セキュリティレベル」(セキュリティレベルの設定)

「セキュリティレベル」(セキュリティレベルの設定) は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

「管理者」(管理者の設定)

本機を使用できるユーザーを特定し、ユーザーを管理することができる管理者の管理者 ID と管理者パスワードを設定します。

セキュリティー機能および管理機能を使用するときに、ここで設定した管理者 ID と管理者パスワードで認証が行われ、正しく認証されたときに設定を行うことが可能になります。

管理者の設定には以下の項目があります。

- 「ID」(管理者 ID の入力)
- 「パスワード」(管理者パスワードの入力)
- 「ID の変更」(管理者 ID の変更)
- 「パスワードの変更」(管理者パスワードの変更)


- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「管理者 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「ID」(管理者 ID の入力)

管理者 ID を設定できます。工場出荷時は、「3500」となります。

- 1 「管理者 >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「ID」が表示され、カーソル () が点滅します。
- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ~ 16 桁の数字で入力してください。
- 4 [実行] キーを押してください。次の手順「パスワード」(管理者パスワードの入力) へ移ります。



「パスワード」(管理者パスワードの入力)

管理者パスワードを設定できます。工場出荷時は、「3500」となります。

- 1 前の手順「ID」(管理者 ID の入力) で ID を入力すると、「パスワード」(管理者パスワードの入力) が表示され、カーソル () が点滅します。
- 2 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 ~ 16 桁の数字で入力してください。



参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID が違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

- 3 正しい ID とパスワードを入力すると、管理（変更）画面が表示されます。（例：管理者 ID が 00000001 の場合）

```
>IDの変更
00000001
```

【△】または【▽】キーを押すと、以下の変更項目が循環して表示されます。

- 「ID の変更」
- 「パスワードの変更」

参考：変更が必要な場合、次の「ID の変更」および「パスワードの変更」の手順を参照してください。

- 4 変更がなければ、【実行】キーを押してください。管理者 ID とパスワードが確定します。
- 5 【メニュー】キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ID の変更」（管理者 ID の変更）

管理者 ID の変更ができます。

- 1 上記「パスワード」の手順3で、管理（変更）画面を表示中に、【△】または【▽】キーを押して、「ID の変更」画面を表示させてください。（例：管理者 ID が 001 の場合）

```
>IDの変更
001
```

- 2 【実行】キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。

```
>IDの変更
_
```

- 3 【△】または【▽】キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更する ID を入力してください。【<】または【>】キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ～ 16 桁の数字で入力してください。

- 4 【実行】キーを押してください。確認画面が表示されます。（例：管理者 ID を 002 に変更した場合）

```
よろしいですか?
002
```

- 5 【実行】キーを押してください。変更した管理者 ID が確定します。
- 6 【メニュー】キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「パスワードの変更」(管理者パスワードの変更)

管理者パスワードの変更ができます。

- 1 上記「パスワード」の手順3で、管理(変更)画面を表示中に、[△] または [▽] キーを押して、「パスワードの変更」画面を表示させてください。

>パスワードの変更



注意：管理者パスワードは表示されません。

- 2 [実行] キーを押すと、カーソル () が点滅します。

>パスワードの変更



- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更するパスワードを入力してください。[<] または [D] キーを押すとカーソルが左右に移動します。IDは0～16桁の数字で入力してください。

- 4 [実行] キーを押してください。確認画面が表示されます。(例：管理者パスワードを010に変更した場合)

よろしいですか?

010

- 5 [実行] キーを押してください。変更した管理者パスワードが確定します。
- 6 [メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「調整 / メンテナンス」 (調整 / メンテナンスの選択・設定)

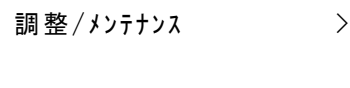
調整 / メンテナンスの選択・設定では、印刷品質に関する調整や本機のメンテナンスを行います。

調整 / メンテナンスの選択・設定には以下の項目があります。

- 「プリンターの再起動」 (プリンターの再起動)
- 「サービス」 (保守・点検用)

注意: 「サービス」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

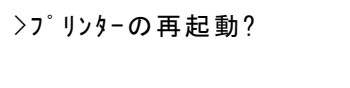
- 1 [メニュー] キーを押してください。
- 2 「調整 / メンテナンス >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「プリンターの再起動」 (プリンターの再起動)

RAM ディスクの設定や、インターフェイスの設定を行ったときに、プリンターを再起動します。

- 1 「調整 / メンテナンス >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>プリンターの再起動」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されます。



- 4 もう一度、[実行] キーを押してください。プリンターの再起動中は「Self test」が表示されます。その後、表示は「しばらくお待ちください」から「プリントできます」に戻ります。

「サービス」(保守・点検用)

保守・点検で使用する「サービス」には以下の項目があります。

- 「ステータスページの印刷」(サービスステータスページの印刷)
- 「ネットワークステータスの印刷」(ネットワーク用ステータスページの印刷)
- 「OP ネットワークステータスの印刷」(オプションネットワークステータスページの印刷)
- 「テストページの印刷」(テストページの印刷)
- 「メンテナンス」(新メンテナンスキットへの交換確認の設定)
- 「現像器」(現像ユニットの初期化)

注意:「サービス」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

- 1 「調整/メンテナンス >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>サービス >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>サービス >

「ステータスページの印刷」(サービスステータスページの印刷)

サービスステータスページは、通常のステータスページよりも詳細なプリンター設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

- 1 「>サービス >」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>ステータスページの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されます。
- 4 [実行] キーを押してください。「データ処理中です」が表示され、サービスステータスページが印刷されます。
- 5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

>>ステータスページの印刷 ?

「ネットワークステータスの印刷」(ネットワーク用ステータスページの印刷)

ネットワーク用ステータスページは、詳細なネットワーク設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

- 1 「>サービス >」表示中に、[▷] キーを押してください。

- 2 「>>ネットワークステータスの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されま
す。

>>ネットワークステータスの印刷 ?
- 4 [実行] キーを押してください。「データ処理中です」が表示され、ネットワーク用ステータスページが印刷されます。
- 5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「OP ネットワークステータスの印刷」(オプションネットワークステータスページの印刷)

オプションネットワーク用ステータスページは、詳細なネットワーク設定情報が印刷されます。

参考：「OP ネットワークステータスの印刷」は、オプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50) またはワイヤレスインターフェイスキット (IB-51) を装着している場合に表示されます。

- 1 「>サービス>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>OP ネットワークステータスの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。
- 3 [実行] キーを押してください。「?」が表示されま
す。

>>OPネットワークステータスの印刷 ?
- 4 [実行] キーを押してください。「データ処理中です」が表示され、ネットワーク用ステータスページが印刷されます。
- 5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「テストページの印刷」(テストページの印刷)

テストページは、本機の調整結果を確認するために印刷します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

- 1 「>サービス>」表示中に、[▷] キーを押してください。
- 2 「>>テストページの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

- 3 【実行】 キーを押してください。「?」が表示されま
す。

>>テストページの印刷 ?

- 4 【実行】 キーを押してください。「データ処理中です」が表示され、テストページが印刷
されます。
- 5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「メンテナンス」(新メンテナンスキットへの交換確認の設定)

新メンテナンスキットへの交換確認 (メンテナンスキット総印刷イメージ数のリセッ
ト) を設定します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

注意: 「MKを交換してください」が表示された場合のみ、「メンテナンス」メニューが
表示されます。

- 1 「>サービス>」表示中に、[D] キーを押してください。
- 2 「>>メンテナンス」が表示されるまで、[Δ] または [▽] キーを押してください。
- 3 【実行】 キーを押してください。「?」が表示されま
す。

>>メンテナンス ?

- 4 【実行】 キーを押してください。新メンテナンスキットへの交換確認の設定が行われま
す。
- 5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「現像器」(現像ユニットの初期化)

このメニューを設定すると、新品の現像ユニットに交換してプリンターの電源をオンに
したとき、現像ユニットにトナーが自動的に供給されます。主にサービス担当者のメン
テナンス用として使用します。

3 オプション

ここでは、プリンターに装着できるさまざまなオプションについて説明します。

- オプションについて ...3-2
- 拡張メモリー ...3-3
- ペーパーフィーダー (PF-100) ...3-6
- その他のオプション ...3-7

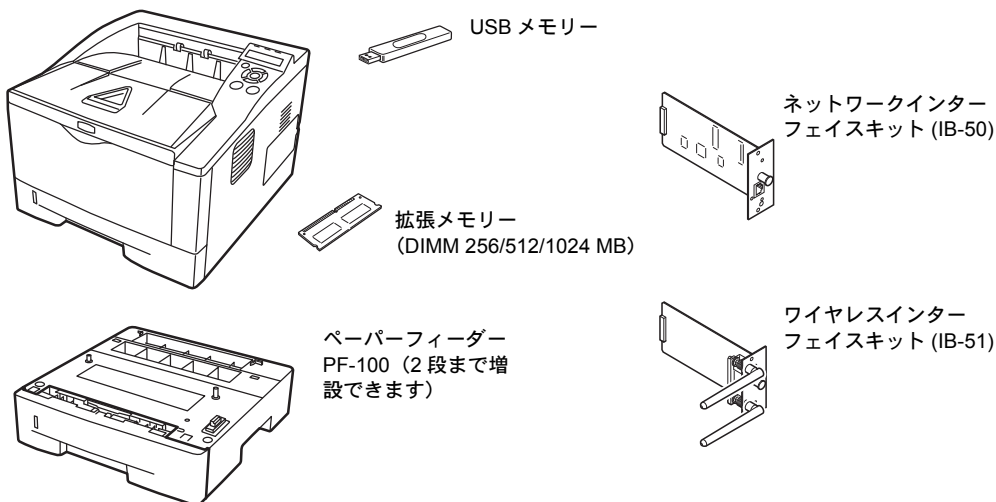
オプションについて

本機は次のオプションが取り付け可能です。お客様の印刷上の用途に適したオプションをお選びください。

オプションの入手方法などについては、京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

参考：プリンターの本体内に装着する拡張メモリーなどは、外部に装着するオプション機器よりも先に装着してください。

オプションの取り付け手順について、詳しくは各オプション付属の説明書を参照してください。



拡張メモリー

メモリーを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。

本機にはメモリー増設のために空きスロットが用意されています。メイン基板にあるスロットにオプションの拡張メモリーを装着することで、最大 1280 MB までプリンターのメモリーを拡張できます。

重要：拡張メモリーの増設は京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は裏表紙を参照してください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

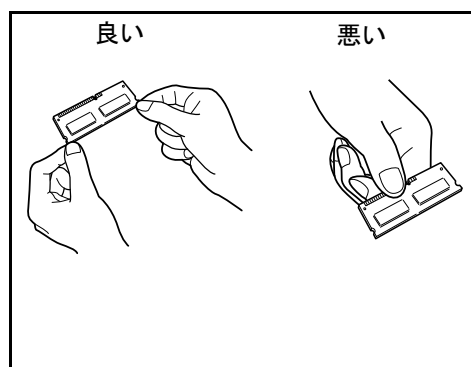
対応拡張メモリー

拡張メモリーには、256 MB、512 MB、1024 MB があります。詳しくは京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

メイン基板およびメモリー取り扱い上の注意

衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリーには大敵です。静電気による破壊からメモリーを保護するために、装着前に次の事柄にご注意ください。

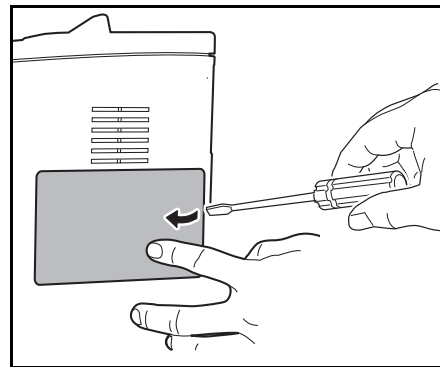
- メモリーは、プリンターに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- メモリーに触れる前に、水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。
- メモリーを取り扱う際は、図のようにプリント配線部分には触れずに必ず基板の端を持ってください。



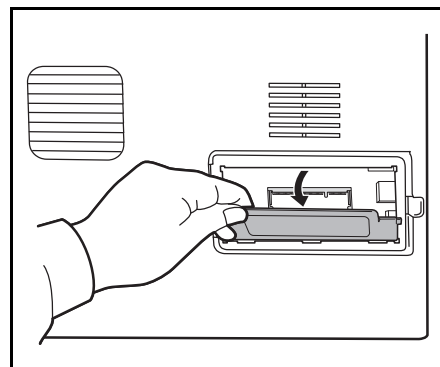
メモリーの取り付け

重要：作業をするには十分なスペースを確保してください。

- 1 プリンターの電源を切り、電源コードとプリンターに接続しているケーブルをすべて取り外します。
- 2 右カバーを開けます。

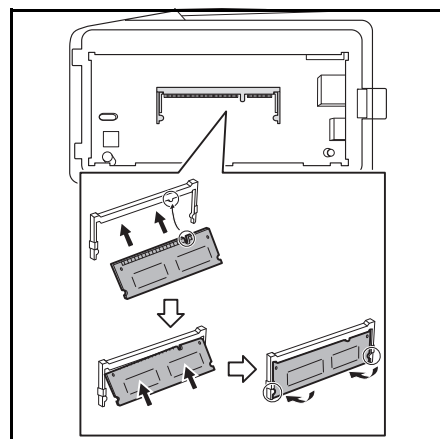


- 3 内部カバーのネジを取り外してカバーを開けます。



- 4 オプションの拡張メモリーをパッケージから取り出します。
- 5 メモリーの端子部を上側にし、切り欠き部分とソケットの突起部分を合わせて斜めにまっすぐ奥まで差し込みます。そして、拡張メモリーをソケット部を支点にし、メイン基板と水平の位置まで倒してフックに固定します。

重要：メモリーソケットに対して、逆向きに取り付けしないでください。



- 6 手順3で取り外した内部カバーを取り付けてから、右カバーを取り付けます。

拡張メモリの取り外し

取り付けた拡張メモリを取り外す場合は、右カバーと内部カバーを開け、ソケット両端にあるストッパを外側に開きます。拡張メモリはソケットから外れます。

拡張メモリの確認

拡張メモリを装着してから、正しく装着されたかどうかを、次の方法で確認します。

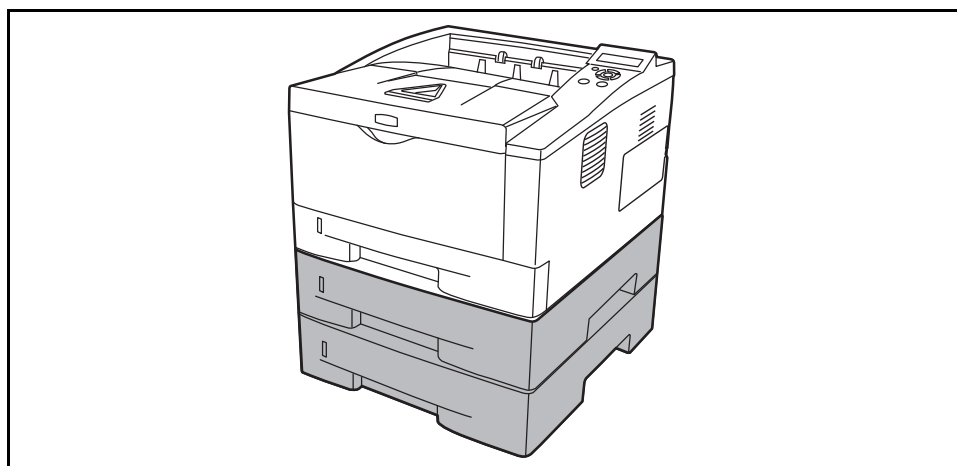
- 1 プリンターの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードをプリンターにつなぎ、プリンターの電源をオンにします。
- 2 「プリントできます」が画面に表示されたら、操作パネルの [メニュー] キーを押します。
- 3 [▽] キーを「ステータスページの印刷」が表示されるまで押します。
- 4 [実行] キーを2回押します。

印刷されたステータスページで、メモリの量を確認します。メモリの増設が正しく行われていれば、トータルメモリの数値が増加しています。(工場出荷時、メモリの量は 256 MB です。)

ペーパーフィーダー (PF-100)

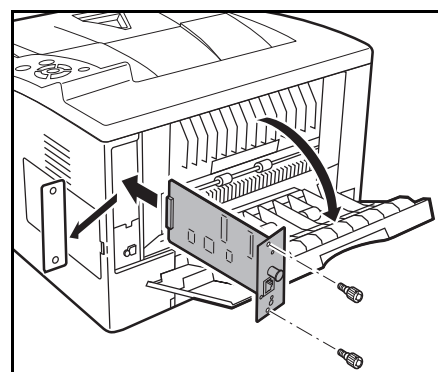
オプションのペーパーフィーダー PF-100 には約 250 枚の用紙を収納できます。プリンターの下に、2 台重ねて装着できます。ペーパーフィーダー付属の給紙カセットで使用できる用紙は、本体と同様です (A6 サイズは収納できません)。

ペーパーフィーダーの取り付け手順については、ペーパーフィーダー付属の**使用説明書**を参照してください。



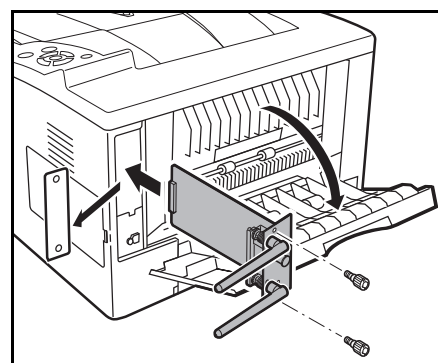
ネットワークインターフェイスキット (IB-50)

ネットワークインターフェイスキットは、通信速度が 1 ギガビット / 秒に対応する高速のインターフェイスです。本体標準のネットワークインターフェイスで対応している、TCP/IP、NetBEUI の他に IPX/SPX、Apple Talk もサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。詳しくは、IB-50 の**使用説明書**を参照してください。



ワイヤレスインターフェイスキット (IB-51)

ワイヤレスネットワーク (無線 LAN) 規格 IEEE802.11n (MAX 300Mbps) および 11g/b に対応したワイヤレスネットワークインターフェイスカードです。付属のユーティリティーによって多彩な OS やネットワーク・プロトコルに対して設定が可能です。詳しくは、IB-51 の**使用説明書**を参照してください。



その他のオプション

USB メモリー

USB メモリーは、USB メモリースロットに接続して使用する、持ち運びが簡単なフラッシュメモリーです。USB メモリーを本体に装着し、印刷したい PDF ファイル名を操作パネルから指定することで、ファイルを印刷できます。

USB メモリー内に他の拡張子のファイルが格納されていても、PDF、TIFF、および XPS のファイル名だけが操作パネルに表示されます。

USB メモリーに格納できるファイル数は、最大 100 件です。ファイル名が半角英数字および半角カタカナで 99 文字まで、全角英数字、カタカナ、漢字およびひらがなで 49 文字までのファイルであれば印刷できます。ただし、メッセージディスプレイには 16 文字までしか表示されないため、半角英数字および半角カタカナで 17 文字以上のファイルと、全角英数字、漢字およびひらがなで 9 文字以上のファイルはメッセージディスプレイで識別できません。

USB メモリー内の PDF ファイルを印刷する操作については、2-14 ページの「USB メモリー」(USB メモリーの選択)を参照してください。

使用できる USB メモリーについては、京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

4 フォント

本機は、欧文アウトラインフォント（PCL、KPDL）93 書体、欧文アウトラインフォント（Windows Vista）8 書体、欧文ビットマップフォント 1 書体を搭載しています。

- 内蔵フォント一覧 ...4-2

内蔵フォント一覧

次は、本機の内蔵フォントのリストです。このフォントリストは、操作パネルから印刷できます。手順については、2-12 ページの「フォントサンプルの印刷」（フォントサンプルの印刷）を参照してください。

PRESCRIBE フォントリスト

Internal Scalable and Bitmapped Fonts List			PRESCRIBE	
Font Name	Scalable/Bitmap	Password	Selection [FSET]	Font ID
Courier	<Scalable>	None	FSET 0p##h0s0b4099T;	I000
CGTimes	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4101T;	I001
CGTimes-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4101T;	I002
<i>CGTimes-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4101T;	I003
CGTimes-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b4101T;	I004
CGOmega	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4113T;	I005
CGOmega-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4113T;	I006
<i>CGOmega-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4113T;	I007
CGOmega-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b4113T;	I008
<i>Conrad</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4116T;	I009
Clarendon-Cd	<Scalable>	None	FSET 1p##v4s3b4140T;	I010
Univers-Md	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4148T;	I011
Univers-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4148T;	I012
<i>Univers-MdIt</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4148T;	I013
Univers-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b4148T;	I014
Univers-MdCd	<Scalable>	None	FSET 1p##v4s0b4148T;	I015
Univers-BdCd	<Scalable>	None	FSET 1p##v4s3b4148T;	I016
<i>Univers-MdCdt</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v5s0b4148T;	I017
Univers-BdCdt	<Scalable>	None	FSET 1p##v5s3b4148T;	I018
AntiqueOlive	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4168T;	I019
AntiqueOlive-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4168T;	I020
<i>AntiqueOlive-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4168T;	I021
GaramondAntiqua	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4197T;	I022
Garamond-Hlb	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4197T;	I023
<i>Garamond-Krsv</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4197T;	I024
Garamond-HlbKrsv	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b4197T;	I025
<i>Marigold</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4297T;	I026
Albertus-Md	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s1b4362T;	I027
Albertus-ExtBd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s4b4362T;	I028
Ryadh	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4859T;	I029
Ryadh-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4859T;	I030
Malka	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b16584T;	I031
Malka-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b16584T;	I032
<i>Malka-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b16584T;	I033
Dorit	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b16585T;	I034
Dorit-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b16585T;	I035
Naamit	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b16587T;	I036
Naamit-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b16587T;	I037
Arial	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b16602T;	I038
Arial-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b16602T;	I039
<i>Arial-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b16602T;	I040

PRESCRIBE フォントリスト

Internal Scalable and Bitmapped Fonts List			PRESCRIBE		
Font Name	Scalable/Bitmap	Password	Selection [FSET]	Font ID	
Arial-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b16602T;	I041	
TimesNewRoman	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b16901T;	I042	
TimesNewRoman-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b16901T;	I043	
<i>TimesNewRoman-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b16901T;	I044	
TimesNewRoman-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b16901T;	I045	
Helvetica	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b24580T;	I046	
Helvetica-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b24580T;	I047	
<i>Helvetica-Ob</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b24580T;	I048	
Helvetica-BdOb	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b24580T;	I049	
Helvetica-Nr	<Scalable>	None	FSET 1p##v4s0b24580T;	I050	
Helvetica-NrBd	<Scalable>	None	FSET 1p##v4s3b24580T;	I051	
<i>Helvetica-NrOb</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v5s0b24580T;	I052	
Helvetica-NrBdOb	<Scalable>	None	FSET 1p##v5s3b24580T;	I053	
Palatino	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b24591T;	I054	
Palatino-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b24591T;	I055	
<i>Palatino-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b24591T;	I056	
Palatino-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b24591T;	I057	
ITCAvantGardeGothic-Bk	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b24607T;	I058	
ITCAvantGardeGothic-Dm	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s2b24607T;	I059	
<i>ITCAvantGardeGothic-BkOb</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b24607T;	I060	
ITCAvantGardeGothic-DmOb	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s2b24607T;	I061	
ITCBookman-Lt	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s-3b24623T;	I062	
ITCBookman-Dm	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s2b24623T;	I063	
<i>ITCBookman-LtIt</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s-3b24623T;	I064	
ITCBookman-DmIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s2b24623T;	I065	
NewCenturySchoolbook-Rom	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b24703T;	I066	
NewCenturySchoolbook-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b24703T;	I067	
<i>NewCenturySchoolbook-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b24703T;	I068	
NewCenturySchoolbook-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b24703T;	I069	
Times-Rom	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b25093T;	I070	
Times-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b25093T;	I071	
<i>Times-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b25093T;	I072	
Times-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b25093T;	I073	
<i>ITCzapfChancery-MdIt</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b45099T;	I074	
ABXΔαβχδ Symbol	<Scalable>	None	CSET 19M;FSET 1p##v0s0b16686T;	I075	
ABXΔαβχδ SymbolPS	<Scalable>	None	CSET 19M;FSET 1p##v0s0b45358T;	I076	
⌘⌚⌛⌜⌝⌞⌟⌠ Wingdings	<Scalable>	None	CSET 579L;FSET 1p##v0s0b31402T;	I077	
⌘⌚⌛⌜⌝⌞⌟⌠ ITCzapfDingbats	<Scalable>	None	CSET 14L;FSET 1p##v0s0b45101T;	I078	
Courier-Bd	<Scalable>	None	FSET 0p##h0s3b4099T;	I079	
<i>Courier-It</i>	<Scalable>	None	FSET 0p##h1s0b4099T;	I080	
Courier-BdIt	<Scalable>	None	FSET 0p##h1s3b4099T;	I081	

PRESCRIBE フォントリスト

Internal Scalable and Bitmapped Fonts List			PRESCRIBE		
Font Name	Scalable/Bitmap	Password	Selection [FSET]	Font ID	
LetterGothic	<Scalable>	None	FSET 0p##h0e0b4102T;	I082	
LetterGothic-Bd	<Scalable>	None	FSET 0p##h0e3b4102T;	I083	
<i>LetterGothic-It</i>	<Scalable>	None	FSET 0p##h1e0b4102T;	I084	
Naskh	<Scalable>	None	FSET 0p##h0e0b4124T;	I085	
Naskh-Bd	<Scalable>	None	FSET 0p##h0e3b4124T;	I086	
Koufi	<Scalable>	None	FSET 0p##h0e0b4264T;	I087	
Koufi-Bd	<Scalable>	None	FSET 0p##h0e3b4264T;	I088	
CourierPS	<Scalable>	None	FSET 0p##h0e0b24579T;	I089	
CourierPS-Bd	<Scalable>	None	FSET 0p##h0e3b24579T;	I090	
<i>CourierPS-Ob</i>	<Scalable>	None	FSET 0p##h1e0b24579T;	I091	
CourierPS-BdOb	<Scalable>	None	FSET 0p##h1e3b24579T;	I092	
Calibri	<Scalable>	None	FSET 1p##v0e0b17329T;	I093	
Calibri-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0e3b17329T;	I094	
<i>Calibri-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1e0b17329T;	I095	
Calibri-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1e3b17329T;	I096	
Cambria	<Scalable>	None	FSET 1p##v0e0b17328T;	I097	
Cambria-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0e3b17328T;	I098	
<i>Cambria-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1e0b17328T;	I099	
Cambria-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1e3b17328T;	I100	
LinePrinterBM8.5-Roman	<Bitmap>	FONT 88;	None	FSET 0p16.67h8.5v0e0b0T;	I101

付録

- インターフェイス ... 付録-2 ページ
- 環境設定コマンド ... 付録-5 ページ

インターフェイス

プリンターの USB インターフェイスおよびネットワークインターフェイスについてピンの割当て、信号、タイミング、コネクタ仕様などを説明します。

USB インターフェイス

本機の USB（ユニバーサルシリアルバス）インターフェイスは、Hi-Speed USB 2.0 に準拠しています。USB インターフェイスの仕様と信号は次のとおりです。

仕様

基本仕様

Hi-Speed USB に準拠しています。

コネクタ

プリンター：B レセプタクル（メス）アップストリームポート

ケーブル：B プラグ（オス）

ケーブル

5 m 以下の USB 2.0（Hi-Speed）適合ケーブル。シールドされているケーブル線を使用してください。

転送モード

ハイスピード（最大 480 Mbps）

フルスピード（最大 12 Mbps）

電源コントロール

自己電源デバイス

インターフェイス信号

USB 接続ピン割り当て

ピン	信号	説明
1	Vbus	電源 (+5 V)
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グラウンド
シエル	—	シールド

ネットワークインターフェイス

特長

IP アドレスを自動で解決

DHCP/DHCPv6 プロトコルに対応しており、DHCP/DHCPv6 サーバーによって自動的に IP アドレスを受け取ることができます。

Web ブラウザーによる管理

HTTP ページを内蔵しており、Web ブラウザーを使用して、各種設定状態のモニターや変更ができます。各種設定は、パスワードによってセキュリティーを確保できます。

各種プロトコルをサポート

代表的な SMTP、POP3、SSL、SNMP、IPv6、NetBIOS over TCP/IP などをサポートし、プリンターの管理やセキュリティー強化に役立ちます。

IEEE802.1X をサポート

EAP-TLS、PEAP 認証方式に対応しています。

IPv6 をサポート

IPv4 をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコル IPv6 に対応しています。

IPSec をサポート

ネットワーク層（IP 層）で、認証および暗号化を行うセキュリティープロトコル IPSec に対応しています。

仕様

コネクター

10 Base-T/100 Base-TX

動作オペレーティングシステム（Windows 系、Macintosh 系）

Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2008/2012 R2、Mac OS X 10.5 以降

ネットワーク・プロトコル

- IPv6: HTTP, HTTPS, LPD, FTP, IPP, RawPort, ICMPv6, LLTD, SNTP, DHCPv6, SMTP, POP3, DNS, SNMPv1/v2c/v3, IPPS, WSD
- IPv4: HTTP, HTTPS, LPD, FTP, IPP, RawPort, ICMP, DHCP, SMTP, POP3, SNTP, DNS, WINS, NetBIOS over TCP/IP, SNMPv1/v2c/v3, Bonjour, IPPS, LLTD, WSD
- その他 : IPX/SPX, NetWare (NDS/Bindery), NetBEUI

セキュリティープロトコル

SSL/TLS (HTTPS、IPPS)、SNMPv3、EAP-TLS、PEAP、AH、ESP

重要：IPv6 機能を使用するときは、ネットワークを構成する機器 (Router やパソコン) が IPv6 に対応している必要があります。

環境設定コマンド

本機は、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリに記憶しています。これらの情報はプリスクライブ FRPO コマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンターの初期状態として設定されます。

ここでは、FRPO コマンドとそのパラメーターの使用例を説明します。

プリスクライブコマンドの詳細については、付属の Product Library に収録されている、プリスクライブコマンドリファレンスマニュアルを参照してください。プリスクライブコマンドごとの書式や機能について、実行例を含めて説明しています。

環境設定コマンドの設定

現在の FRPO パラメーターの設定値は、ステータスページで確認できます。

参考：FRPO パラメーターを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPO INIT コマンドですべての FRPO パラメーターを、プリンターの初期状態にもどすこともできます。(#!R! FRPO INIT; EXIT;)

FRPO コマンドは次の書式で実行します。

#!R! FRPO パラメーター , 設定値 ; EXIT;

例ーエミュレーションを PC-PR201/65A に設定

#!R! FRPO P1, 11; EXIT;

FRPO パラメーター

項目	FRPO	設定値	工場設定
上マージン	A1	インチ単位の整数部分	0
	A2	1/100 インチ単位の小数部分	0
左マージン	A3	インチ単位の整数部分	0
	A4	1/100 インチ単位の小数部分	0
ページの長さ	A5	インチ単位の整数部分	16
	A6	1/100 インチ単位の小数部分	61
ページの幅	A7	インチ単位の整数部分	16
	A8	1/100 インチ単位の小数部分	61
起動時のパターン解像度	B8	0: 300 dpi 1: 600 dpi	0
ページ方向	C1	0: 縦置き (ポートレート) 1: 横置き (ランドスケープ)	0
起動フォント†	C2	起動フォント番号の中 2 桁	0
	C3	起動フォント番号の最後 2 桁	0
	C5	起動フォント番号の最初の 2 桁	0
PCL フォントスイッチ	C8	0: HP 互換モード 1: 過去互換モード	0
受信データバッファ容量	H8	0 ~ 99FRPO S5 の値で積算 (0: 5 K バイト)	5

付録

項目	FRPO	設定値	工場設定
タイムアウトの時間	H9	0 ~ 99 5 秒単位	1
KIR	N0	0: オフ 2: オン	2
両面印刷モードの選択	N4	0: オフ 1: ロングエッジモード (長辺とじ) 2: ショートエッジモード (短辺とじ)	0
スリープ時間	N5	1 ~ 240 分	1
エコプリントモード	N6	0: オフ 2: オン	0
解像度	N8	0: 300dpi 1: 600dpi 3: 1200dpi	1
エミュレーションモード	P1	0: Line printer 1: IBM proprinter 2: DIABLO 630 5: EPSON LQ-850 6: PCL 6 9: KPDL	6
キャリッジリターンの処理†	P2	0: 無視 1: CR 2: CR+LF	1
改行の処理†	P3	0: 無視 1: LF 2: CR+LF	1
KPDL 自動切替え	P4	0: なし 1: 自動切替え	0
KPDL 自動切替え先エミュレーション	P5	P1 と同じ (9 を除く)	6
AES オプション 1- 自動エミュレーション切り換え (AES) が起動するページ排出コマンドおよび処理動作	P7	AES 起動後、KPDL または自動切替先 (代替) エミュレーションのどちらにも該当しないデータは KPDL で処理。 0: すべてのページ排出コマンドで AES 起動。 1: なし 2: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンドで AES 起動。 3: プリスクライブ EXIT コマンドのみで AES 起動。 4: ^L コマンドのみで AES 起動。 6: プリスクライブ EXIT コマンドおよび ^L コマンドで AES 起動。 AES 起動後、KPDL または自動切替先 (代替) エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレーションで処理。 10: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンドで AES 起動。	10
コマンド認識文字	P9	33 ~ 126 の ASCII コード	82 (R)

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙サイズ	R2	0: 給紙カセットのサイズ (R4 参照) 1: Envelope Monarch 2: Envelope #10 3: Envelope DL 4: Envelope C5 5: Executive 6: Letter 7: Legal 8: ISO A4 9: JIS B5 13: ISO A5 14: ISO A6 15: JIS B6 16: Envelope #9 17: Envelope #6-3/4 18: ISO B5 19: Custom 31: はがき 32: 往復はがき 33: Oficio II 40: 16K 42: 216×340 mm 50: Statement 51: Folio 52: 洋形 2 号 (封筒) 53: 洋形 4 号 (封筒)	0
初期給紙元	R4	0: 手差しトレイ 1: カセット 1 2: カセット 2 3: カセット 3	1
手差しトレイの用紙サイズ	R7	0 がない以外は、R2 と同じ	8 (A4)
A4/Letter の共通給紙	S4	0: オフ 1: オン	0
ホストバッファサイズ積算値 (H8 の値と積算)	S5	0: 10 KB 1: 100 KB 2: 1 MB	1
RAM ディスクサイズ	S6	1 ~ 1024 MB 単位	400
RAM ディスクモード	S7	0: オフ 1: オン	1
Tray 1 Paper Size	T1	6: 米国 8: 欧州、日本	8
Tray 2 Paper Size	T2	6: 米国 8: 欧州、日本	8
Tray 3 Paper Size	T3	6: 米国 8: 欧州、日本	8

付録

項目	FRPO	設定値	工場設定
ワイド A4 機能	T6	0: オフ 1: オン	0
行間隔†	U0	インチあたりの行数 / 整数部分	6
行間隔†	U1	インチあたりの行数 / 小数部分	0
文字間隔†	U2	インチあたりの文字数 / 整数部分	10
文字間隔†	U3	インチあたりの文字数 / 小数部分	0
内蔵フォントの国別コード	U6	0: US 1: フランス 2: ドイツ 3: イギリス 4: デンマーク 5: スウェーデン 6: イタリア 7: スペイン 8: 日本 9: US リーガル 10: IBM PC-850 (マルチ言語) 11: IBM PC-860 (ポルトガル語) 12: IBM PC-863 (カナダフランス語) 13: IBM PC-865 (ノルウェー語) 14: ノルウェー語 15: デンマーク語 2 16: スペイン語 2 17: ラテンアメリカ 21: US ASCII (U7=50 に設定) 77: HP Roman-8 (U7=52 に設定)	0
シンボルセット	U7	0: エミュレーションと同じ 1: IBM 6: IBM PC-8 50: US ASCII (U6=21 に設定) 52: HP Roman-8 (U6=77 に設定)	0
デフォルトフォントピッチ	U8	0 ~ 99	10
	U9	0 ~ 99	0
初期 ANK アウトラインフォントサイズ†	V0	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 上位 2 桁 / 設定有効範囲値 : 00 ~ 09	0
	V1	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 下位 2 桁 / 設定有効範囲値 : 00 ~ 99	12
	V2	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの小数 2 桁 設定有効値 : 00, 25, 50, 75	0
初期 ANK アウトラインフォント名†	V3	起動時の ANK アウトラインフォント名	Courier

項目	FRPO	設定値	工場設定
クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択 V9		0: クーリエ=ダーク レターゴシック=ダーク 1: クーリエ=レギュラー レターゴシック=ダーク 4: クーリエ=ダーク レターゴシック=レギュラー 5: クーリエ=レギュラー レターゴシック=レギュラー	5
用紙種類 (手差しトレイ)	X0	1: 普通紙 2: OHP シート 3: プレ印刷用紙 4: ラベル用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄い用紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 12: 封筒 13: はがき 16: 厚い用紙 17: 上質紙 21 ~ 28: カスタム 1 ~ カスタム 8	1
用紙種類 (本体カセット 1)	X1	1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 17: 上質紙 21 ~ 28: カスタム 1 ~ カスタム 8	1
用紙種類 (カセット 2, 3)	X2 X3	1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 17: 上質紙 21 ~ 28: カスタム 1 ~ カスタム 8	1
給紙カセット選択モード (PCL)	X9	0: 用紙種類の設定によって給紙カセットを切り替え 1: カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え	0

付録

項目	FRPO	設定値	工場設定
エラー時のオートエラークリア（[印刷可 / 解除] キーを押して解除するエラーのみ）	Y0	0: オフ 1: オン	0
オートエラークリアのエラー解除時間	Y1	0 ~ 99 5秒単位	6 (30秒)
EcoFuser 機能の ON/OFF 設定	Y2	0: レディ時のオンデマンド定着器のヒーターオフ 1: レディ時のオンデマンド定着器のヒーターオン	0
両面印刷時の用紙エラー検知	Y3	0: 検知しない 1: 検知する	0
強制両面印刷設定（用紙種類がプレプリント、パンチズミシおよびレターヘッドのみ）	Y4	0: オフ 1: オン	0
PDF ダイレクト動作	Y5	0: 用紙に合わせて拡大縮小 1: PDF 内の紙サイズ指定で用紙選択 2: PDF 内の紙サイズ指定によって、A3、A4、Letter から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 3: PDF 内の紙サイズ指定で、A3、A4、Letter から印刷 8: 等倍で印刷 9: PDF 内の紙サイズ指定によって、Ledger、Letter、Legal、A4 から選択 10: PDF 内の紙サイズ指定によって、Ledger、Letter、Legal、A4 から選択し、用紙に合わせて拡大縮小	0
e-MPS エラー制御	Y6	0: エラー制御をしない 1: エラーレポートを出力する 2: エラーを表示する 3: エラーを表示、およびエラーレポートを出力する	3

† エミュレーションによっては無視されます。

用語集

AppleTalk

Macintosh とプリンターでデータを転送するプロトコルです。Macintosh を複数台接続したり、プリンターを共有する際に使われます。

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1 インチ (25.4 mm) 当たりのドット数を表します。

KYOCERA Net Direct Printing

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷できるユーティリティーです。付属の DVD-ROM に収録されています。

KYOCERA Net Viewer

ネットワーク上のプリンターの状態を確認できるネットワーク管理ツールです。付属の DVD-ROM に収録されています。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueType フォントをプリンターで扱える機能などがあります。本機は PCL6 エミュレーションモードを搭載しています。

PostScript

印刷物の出力などで一般的なページ記述言語のひとつです。本機で印刷するには、オプションの KPDL3 アップグレードキットを装着する必要があります。

RAM ディスク

プリンターのメモリーの一部を利用した仮想ディスクで、プリンターの総メモリーの中から、任意のメモリーサイズを RAM ディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷時間の短縮）などの機能が使えるようになります。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

パソコンとプリンターでデータを転送するプロトコルです。パソコンを複数台接続したり、プリンターを共有する際に使われます。

USB (Universal Serial Bus) 2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠した USB インターフェイスです。最大通信速度は 480 Mbps で、高速なデータ転送ができます。

本機はこの USB 2.0 インターフェイスを装備しています。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは 0.25 ポイント単位で最大 999.75 ポイントまで設定できます。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。本機は PCL 6、KPD L (オプション)、Line printer、IBM proprinter、DIABLO 630 および EPSON LQ-850 のエミュレーションを備えています。

拡張メモリー

本機は 1 つの拡張スロットを装備しており増設できます。使用できる DIMM については京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

環境設定コマンド (FRPO コマンド)

本機は印刷設定を内部のメモリーに記憶しています。環境設定コマンドで設定すると、電源を入れたときの初期設定にすることができます。

ステータスページ

プリンターに関する様々な情報を確認することができるページです。

プリスクライブ (PRESCRIBE) コマンド

京セラドキュメントソリューションズプリンターに搭載されている独自のプリンター制御言語で、プリンターに必要な様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングが容易です。

プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。付属の DVD-ROM に収録されています。

ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンターで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

索引

A

A4/ レターサイズの共通給紙 2-32
AppleTalk 用語集 -1
Auto-IP 2-48

B

Bonjour 2-50

D

DHCP 2-47
dpi 用語集 -1

E

Enhanced WSD 2-88
EnhancedWSD(SSL) 2-88

F

Firmware Version 2-12
FRPO パラメーター 付録 -5
FTP (Server) 2-54

H

HTTP 2-56

I

IPP 2-89
IPSec 2-92

K

KIR モード 2-38
KYOCERA Net Direct Printing 用語集 -1
KYOCERA Net Viewer 用語集 -1

L

LAN インターフェイス 2-93
LPD 2-56

N

NetBEUI 2-53

O

OHP フィルム 1-8

P

PCL 用語集 -1

POP3 2-55

PostScript 用語集 -1
PRESCRIBE 用語集 -2

R

RAM ディスク 2-70, 用語集 -1
RAM ディスク・ファイルリスト 2-13
RAW Port 2-55

S

SMTP 2-55
SNMP 2-54
SNMPv3 2-53
SSL サーバー 2-89

T

TCP/IP 用語集 -1
TCP/IP (IPv4) 2-46
TCP/IP (IPv6) 2-51
TIFF/JPEG データ印刷方法の設定 2-44

U

USB インターフェイス 付録 -2, 用語集 -2
 USB 接続ピン割り当て 付録 -2
 基本仕様 付録 -2
USB メモリー
 印刷 2-14
 給紙元 2-15
 コピー枚数 2-15
 取り外し 2-15
 ファイルリスト 2-16

W

WSD-PRINT 2-87

X

XPS データ 印刷範囲の設定 2-43

あ

厚い用紙 1-11

い

印刷環境の設定 2-40
印刷濃度の設定 2-40
印刷のキャンセルのしかた 2-4

印刷方向 2-41

印刷枚数 2-41

インジケータ

 アテンション 2-3

 印刷可 2-3

 データ 2-3

インターフェイス 付録-2

インターフェイスブロック 2-85

え

エコプリントモード 2-39

エミュレーション 用語集-2

 KPDLErrorの印刷 2-34

 エミュレーションモード 2-33

 ステータスページ 2-12

エラー検知 2-71

お

オートエラークリア 2-77

 時間 2-77

オートパネルリセット 2-75

 時間 2-75

オプション 3-1

 USBメモリー 3-7

 ペーパーフィーダー 3-6

 メモリー 3-3

オプション構成 3-2

オプションネットワーク 2-58

 AppleTalk 2-60

 IPSec 2-61

 LANインターフェイス 2-61

 MACアドレスフィルター 2-62

 NetWare 2-60

 TCP/IP (IPv4) 2-59

 TCP/IP (IPv6) 2-59

 通信 2-62

 ネットワークの再起動 2-63

か

改行動作の設定 2-42

解像度の設定 2-39

カウンター

 総印刷ページ数 2-17

拡張メモリー 用語集-2

環境設定コマンド 付録-5, 用語集-2

管理者 2-94

 ID 2-94

 IDの変更 2-95

 パスワード 2-94

パスワードの変更 2-96

き

キー

 [印刷可/解除] 2-4

 [キャンセル] 2-4

 [実行] 2-5

 使い方 2-4

 [メニュー] 2-4

 矢印キー 2-5

給紙カセット

 給紙指定動作 2-30

 給紙元 2-28

 自動カセット切替 2-29

 用紙サイズ 2-21

 用紙種類 2-24

 用紙の種類 1-12

さ

再起動 2-97

再生紙 1-11

サブネットマスク 2-49

サマータイム 2-67

し

時刻 2-65

時差 2-67

自動改ページ待ち時間 (タイムアウト) 2-78

ジョブ名称表示設定 2-45

す

ステータスページ 用語集-2

 印刷 2-10

 内容 2-11

スリープ

 時間 2-76

スリープレベル 2-78

せ

セキュリティ

 ID 2-58, 2-65, 2-74, 2-79, 2-82, 2-84

 パスワード 2-59, 2-65, 2-74, 2-79, 2-82, 2-85

て

低電力モード

 時間 2-76

手差しトレイ

 給紙元 2-28

 手差しトレイ優先 2-29

- 用紙サイズ 2-19
- 用紙種類 2-20
- 用紙の種類 1-12
- デフォルトゲートウェイ 2-50

- と
- トナーコンテナ
- 通知 2-81
- トナー少の通知レベル 2-81

- な
- 内蔵フォント 4-2

- ね
- ネットワークインターフェイスキット 3-6
- ネットワークの再起動 2-57
- ネットワークの設定 2-46

- は
- はがき 1-10

- ひ
- 日付 2-65
- 表示言語 2-64

- ふ
- 封筒 1-10
- フォント 4-1
 - ANK フォント 2-35
 - Courier/Letter Gothic の文字ピッチ 2-36
 - Courier/Letter Gothic フォントの太さ 2-36
 - 漢字フォントサイズ 2-37
 - 初期フォントの設定 2-35
- フォントサンプル 2-12
- ブザー 2-68
- 復帰動作の設定 2-42
- プリスクライブコマンド 用語集 -2
- プリンタードライバ 用語集 -2
- プレ印刷用紙 1-11
- プロトコル詳細 2-53

- め
- メッセージディスプレイ 2-2
 - ステータス情報 2-2
 - 表示言語 2-64
- メニューマップ 2-9
- メモリー
 - 拡張 3-3
 - 確認 3-5

- ステータスページ 2-12
- 取り付け 3-4
- 取り外し 3-5

- も
- モード選択メニュー 2-6

- よ
- 用語集 用語集 -1
- 用紙
 - OHP フィルム 1-8
 - 厚い用紙 1-11
 - ガイドライン 1-4
 - カスタム設定のリセット 2-27
 - カラー紙 1-11
 - 基本仕様 1-2
 - 再生紙 1-11
 - 最大サイズと最小サイズ 1-3
 - 使用できる用紙 1-2
 - その他の仕様 1-6
 - 適正な用紙 1-4
 - 特殊な用紙 1-8
 - はがき 1-10
 - 封筒 1-10
 - プレ印刷紙 1-11
 - 用紙サイズ 1-4
 - 用紙種類 2-18
 - 用紙種類のカスタム設定 2-25
 - 用紙の特性 1-5
 - ラベル用紙 1-9

- ら
- ラスタライズ 用語集 -3
- ラベル用紙 1-9
 - 構造と適性 1-10

- り
- 両面印刷 2-31
 - エラー検知 2-71
 - 製本モード 2-31

- わ
- ワイド A4 2-43
- ワイヤレスインターフェイスキット 3-6

印字品質を維持するため、京セラドキュメントソリューションズ・純正トナーコンテナの使用をお勧めします。

京セラドキュメントソリューションズ製品には、数々の品質検査をパスした純正トナーをご使用ください。

純正以外のトナーを使用した場合、故障の原因となることがあります。

純正トナー以外の使用により、不具合が生じた場合、保証期間内であっても責任を負いかねます。

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

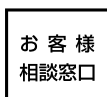
お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号

<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-046562

受付時間

● 9:00～17:00

(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。